

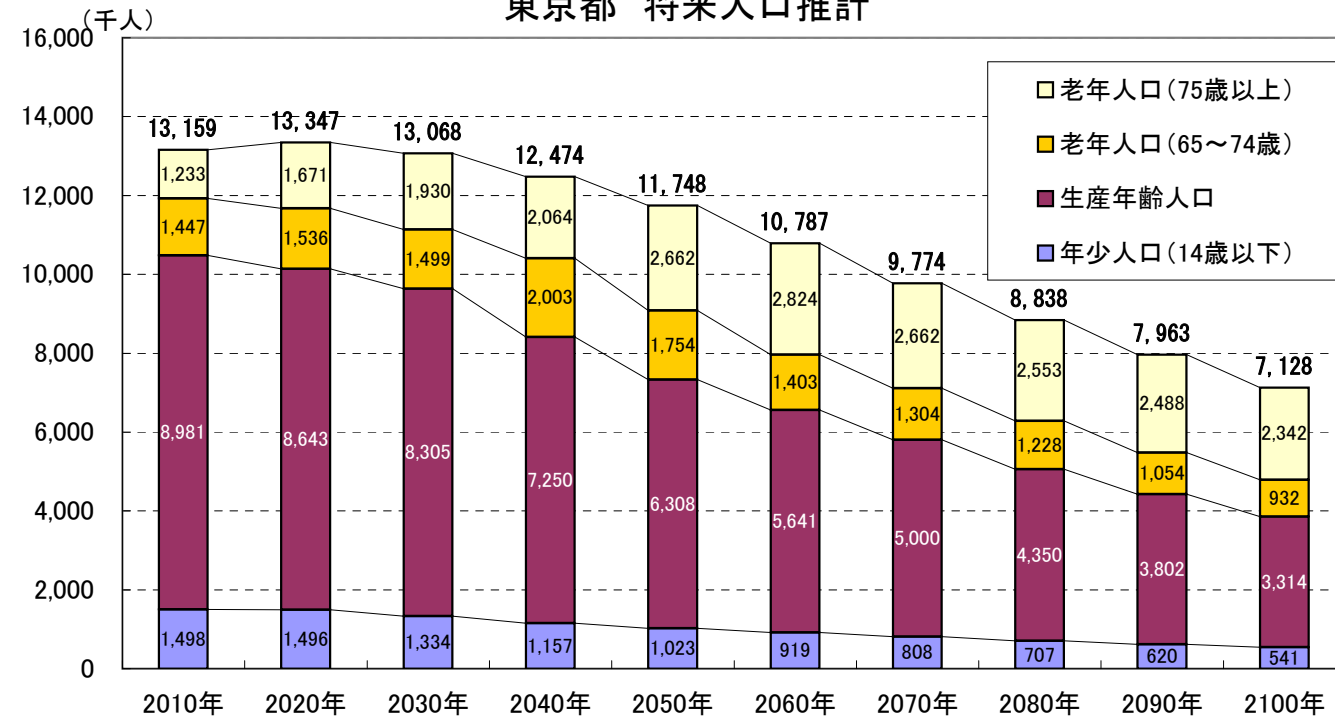
『東京の自治のあり方』の方向性(案) 付表目次 【資料5】

付表番号	タイトル	参照
1	東京の将来人口推計(年齢3区分別)	第7回資料
2	東京の高齢者数と高齢化率の推移	第7回資料
3	区市町村別合計特殊出生率	第6回資料
4	地方税のうち主な普通税と生産年齢人口の推移	第6回資料
5	東京都の法人二税の推移	第6回資料
6	都内区部 一般会計決算 歳入歳出額の推移	第6回資料
7	都内市部 一般会計決算 歳入歳出額の推移	第6回資料
8	都内町村部 一般会計決算 歳入歳出額の推移	第6回資料
9	東京都 児童福祉費を除く主な民生費と老年人口の推移	第6回資料
10	我が国の人口は長期的には急減する局面に	
11	東京の将来人口推計	第7回資料
12	2030年に中国の人口がピークを迎え、インドが中国を抜く	
13	都道府県別会社企業数の構成比	
14	都内地域別、都道府県別資本金10億円以上の会社企業数の構成比(2006年)	第3回資料
15	県内総生産(名目)の推移	第3回資料
16	世界のコンテナ取扱量ランキング	第6回資料
17	経過年別東京都橋梁及び50年以上橋梁割合	第6回資料
18	今後、耐用年数を超える下水道管が急増	第6回資料
19	多摩地域の流域下水道幹線の年度別整備延長	第3回資料
20	多摩地域の流域下水道施設で耐用年数を超えて使用している割合	第3回資料
21	都営住宅建設年度別区市別ストック状況	第6回資料
22	都営住宅等の更新費推計(平成10年7月推計)	第3回資料
23	更新時期を迎える公共施設と改築経費(特別区)	
24	区市町村別昼夜間人口比率	第2回資料
25	平成24年度 都区財政調整について(要旨)	
26	平成22年度決算 歳入総額(都内町村)	
27	東京の高齢者世帯の推移	第7回資料
28	区部における65歳以上の孤独死の推移	
29	多摩地域における町会・自治会加入率の推移(平成16年・19年)	第4回資料
30	町会・自治会の抱える課題(多摩地域、平成20年)	第4回資料
31	東京都の空家数と空家率の推移	
32	都道府県別NPO法人認証数の構成比	
33	東京都内区市町村におけるNPO支援・協働に関する施策の実施状況の推移	第5回資料
34	東京都への流入人口の推移	
35	平成22年度 都税収入決算見込額について	
36	区市町村別業務移動圏完結率	第1回資料
37	区市町村別私事移動圏完結率	第1回資料
38	合併の進捗状況等	
39	東京都区市町村別面積(平成23年10月1日現在)	
40	東京都の職員数	
41	都内区市町村別 総職員数の推移(平成12年～23年)	第5回資料
42	民間委託の実施状況(事務事業の委託実施団体比率)①—東京都、全都道府県—	第5回資料
43	民間委託の実施状況(事務事業の委託実施団体比率)②—特別区、都内市町村、全市区町村、政令指定都市—	第5回資料
44	一部事務組合一覧	第5回資料
45	オール東京62市区町村共同事業	第5回資料

東京の将来人口推計(年齢3区分別)

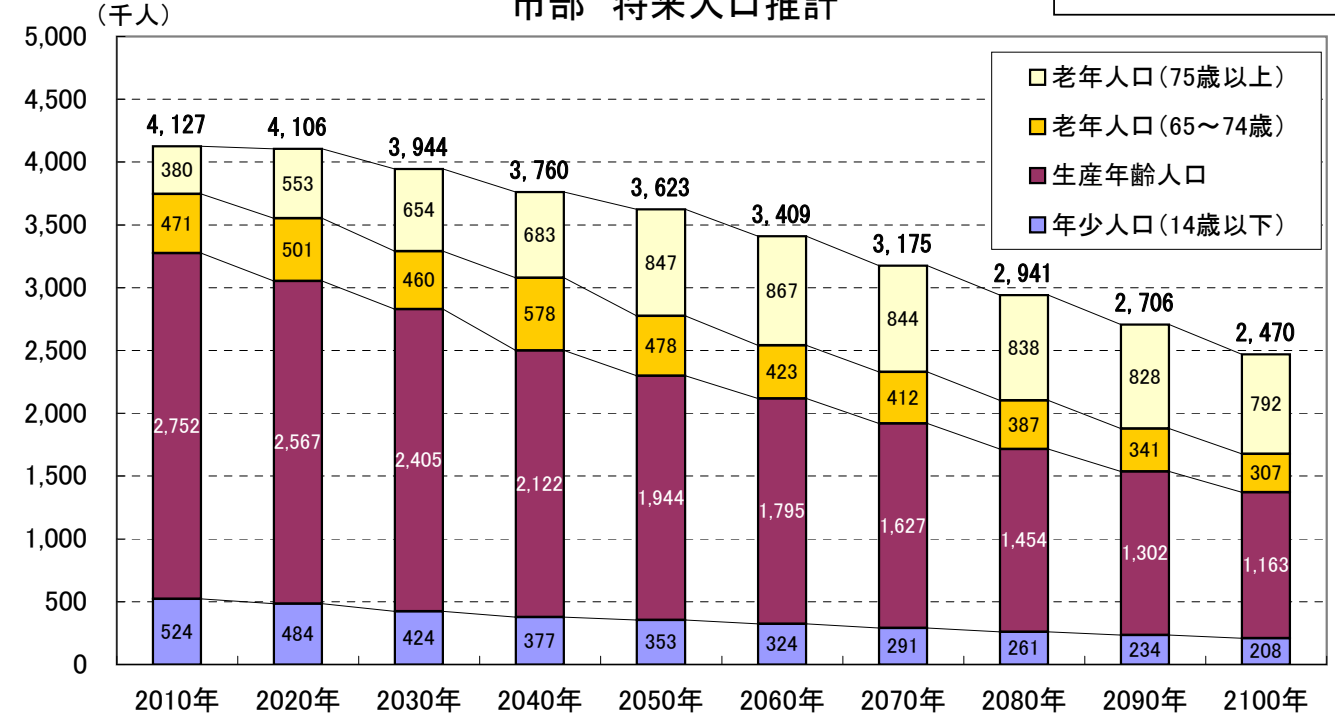
付表1
(第7回資料)

東京都 将来人口推計



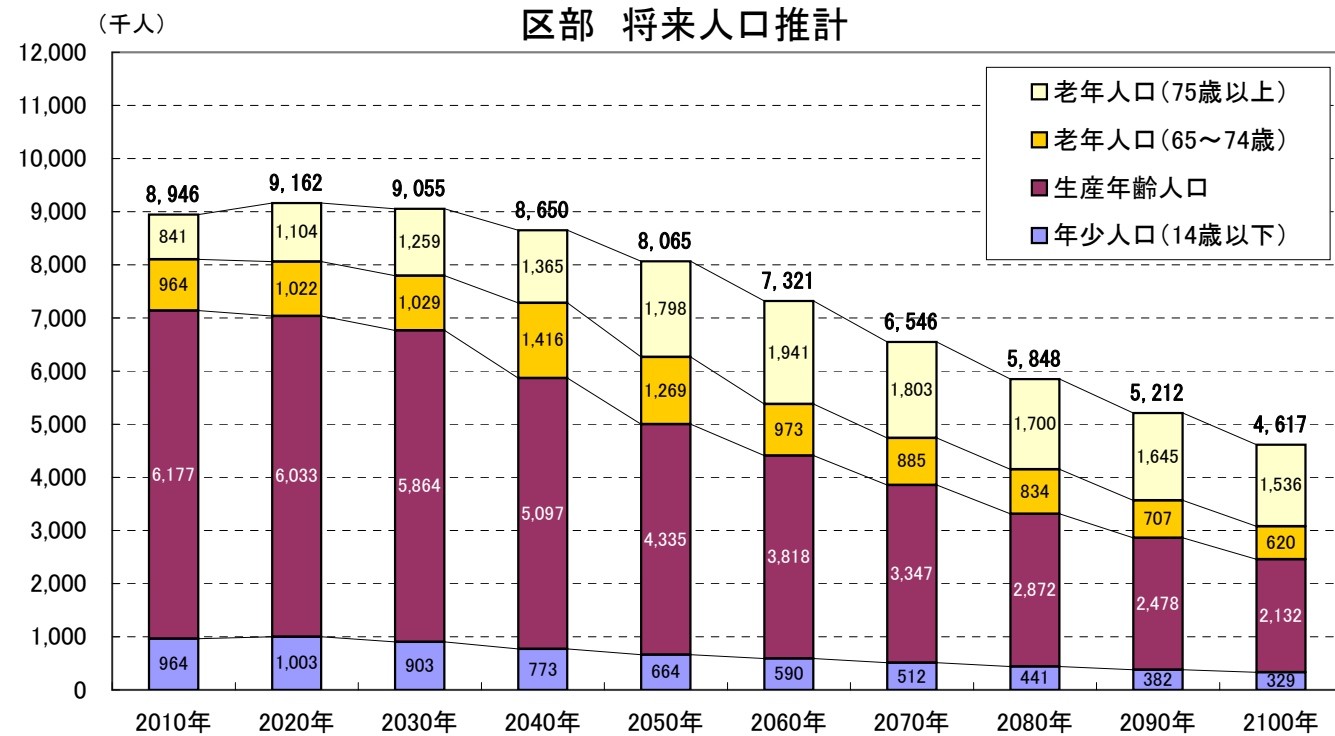
	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	11.4%	11.2%	10.2%	9.3%	8.7%	8.5%	8.3%	8.0%	7.8%	7.6%
生産年齢人口比率	68.2%	64.8%	63.6%	58.1%	53.7%	52.3%	51.2%	49.2%	47.7%	46.5%
老年人口(65~74歳)比率	11.0%	11.5%	11.5%	16.1%	14.9%	13.0%	13.3%	13.9%	13.2%	13.1%
老年人口(75歳以上)比率	9.4%	12.5%	14.8%	16.5%	22.7%	26.2%	27.2%	28.9%	31.2%	32.9%

市部 将来人口推計



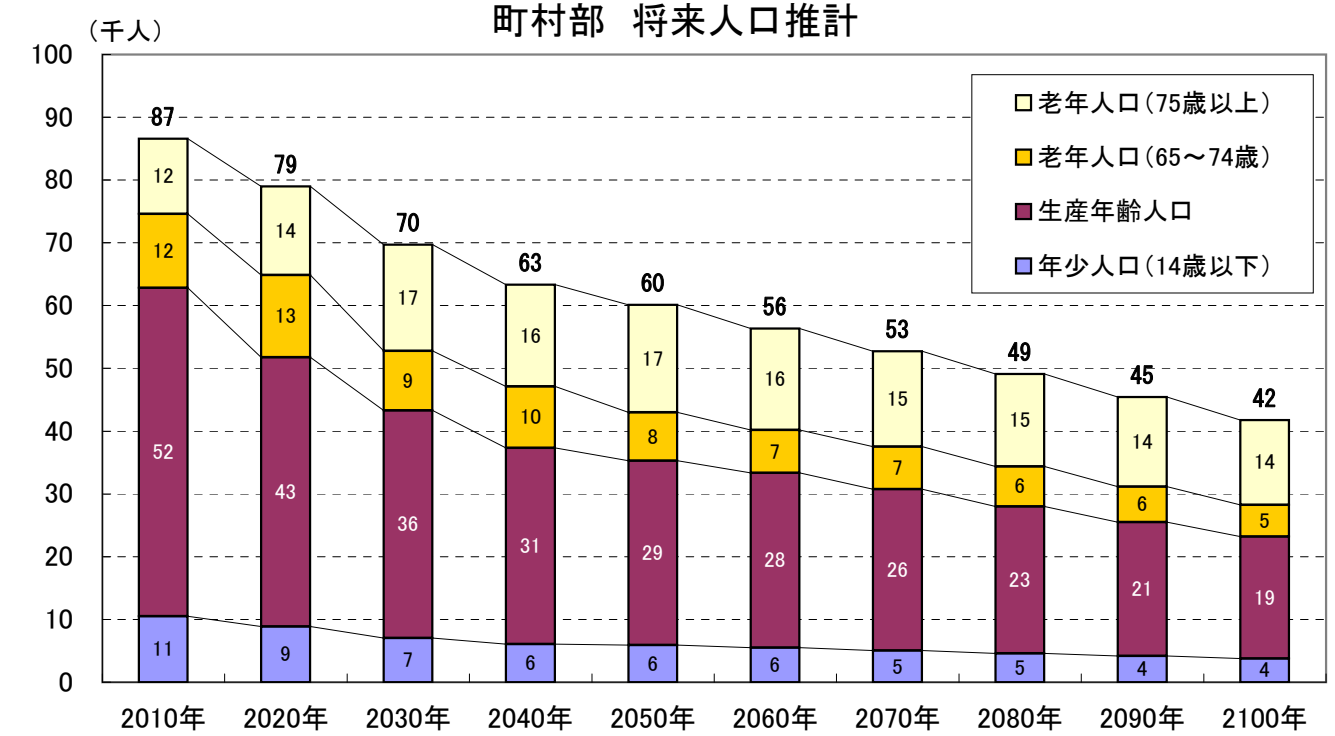
	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	12.7%	11.8%	10.8%	10.0%	9.8%	9.5%	9.2%	8.9%	8.6%	8.4%
生産年齢人口比率	66.7%	62.5%	61.0%	56.4%	53.7%	52.7%	51.3%	49.4%	48.1%	47.1%
老年人口(65~74歳)比率	11.4%	12.2%	11.7%	15.4%	13.2%	12.4%	13.0%	13.2%	12.6%	12.4%
老年人口(75歳以上)比率	9.2%	13.5%	16.6%	18.2%	23.4%	25.4%	26.6%	28.5%	30.6%	32.1%

区部 将来人口推計



	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	10.8%	10.9%	10.0%	8.9%	8.2%	8.1%	7.8%	7.5%	7.3%	7.1%
生産年齢人口比率	69.0%	65.8%	64.8%	58.9%	53.7%	52.1%	51.1%	49.1%	47.6%	46.2%
老年人口(65~74歳)比率	10.8%	11.2%	11.4%	16.4%	15.7%	13.3%	13.5%	14.3%	13.6%	13.4%
老年人口(75歳以上)比率	9.4%	12.0%	13.9%	15.8%	22.3%	26.5%	27.5%	29.1%	31.6%	33.3%

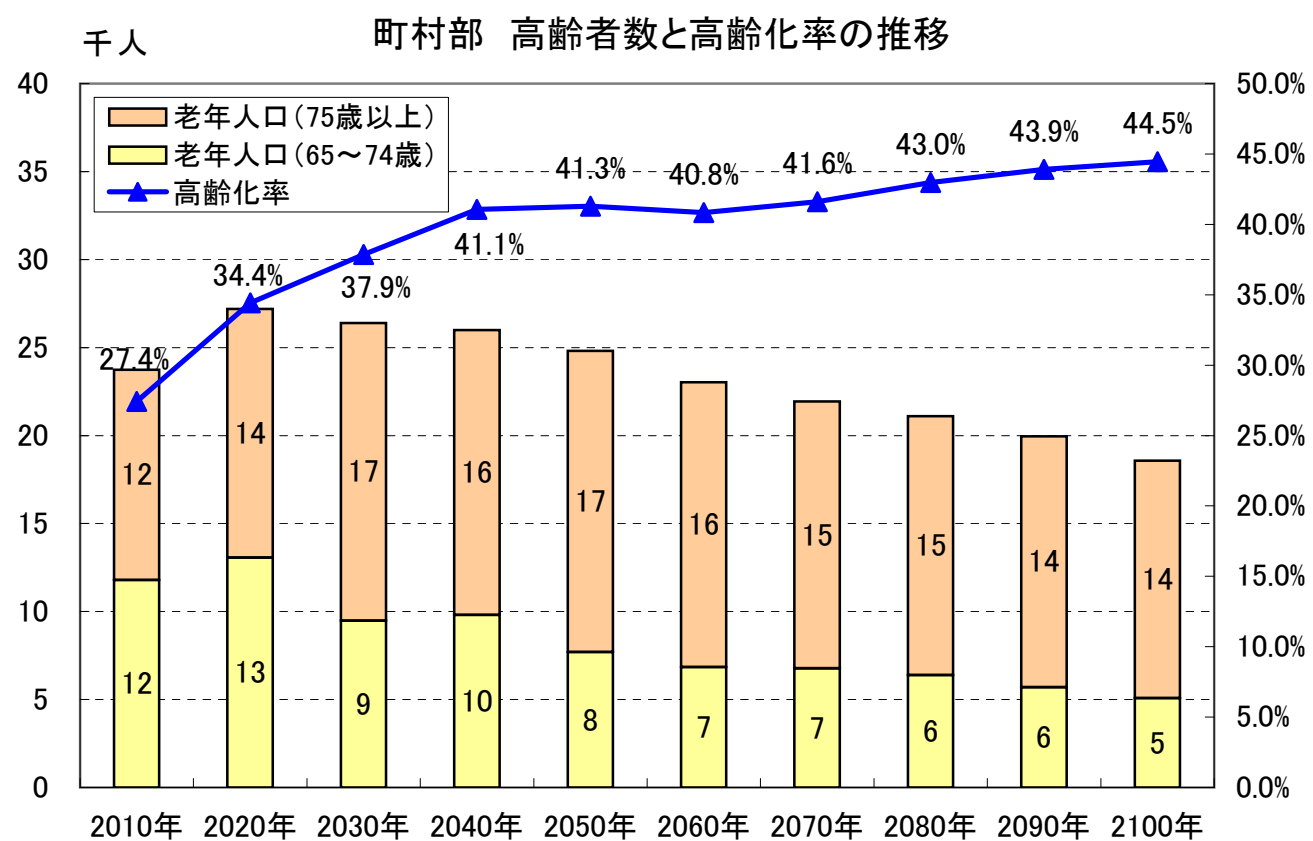
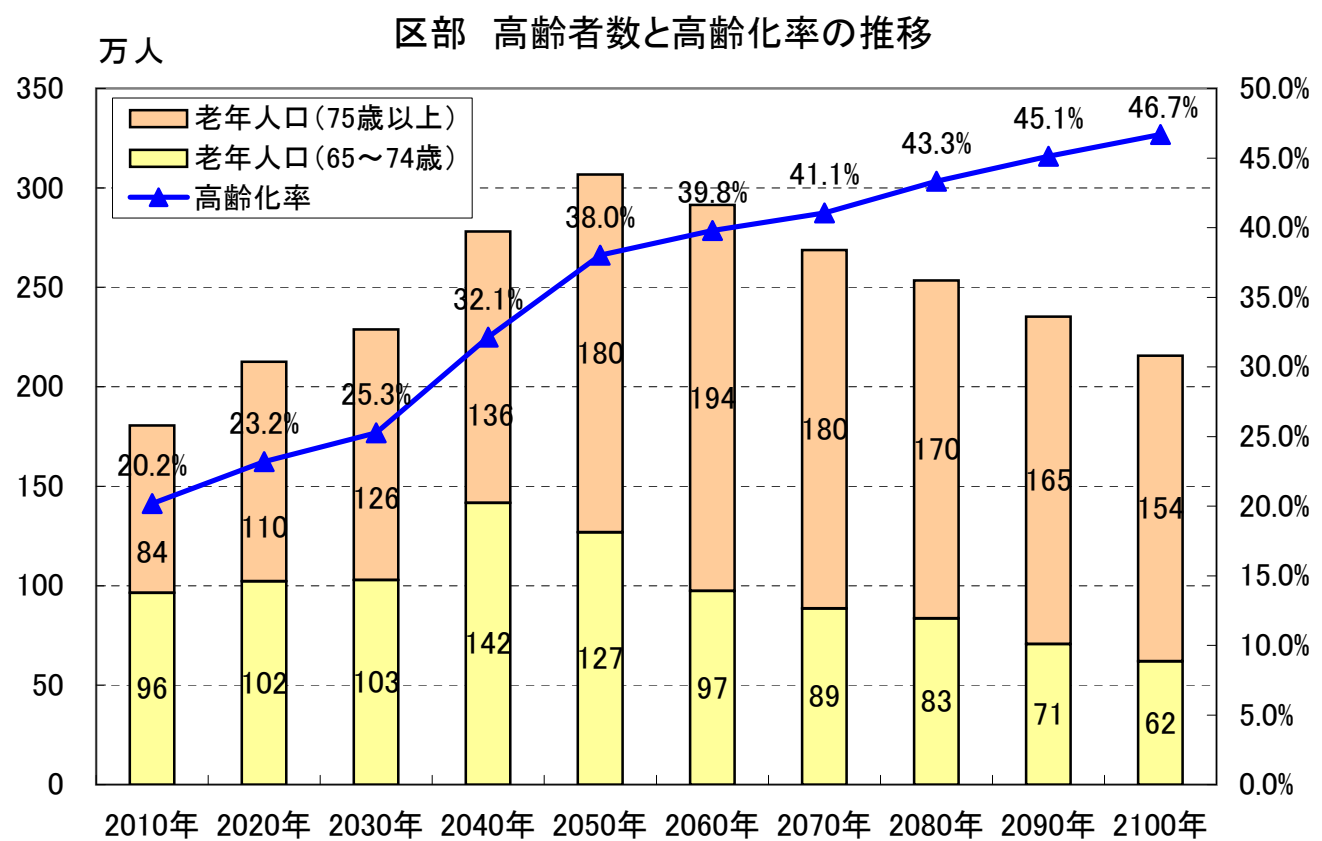
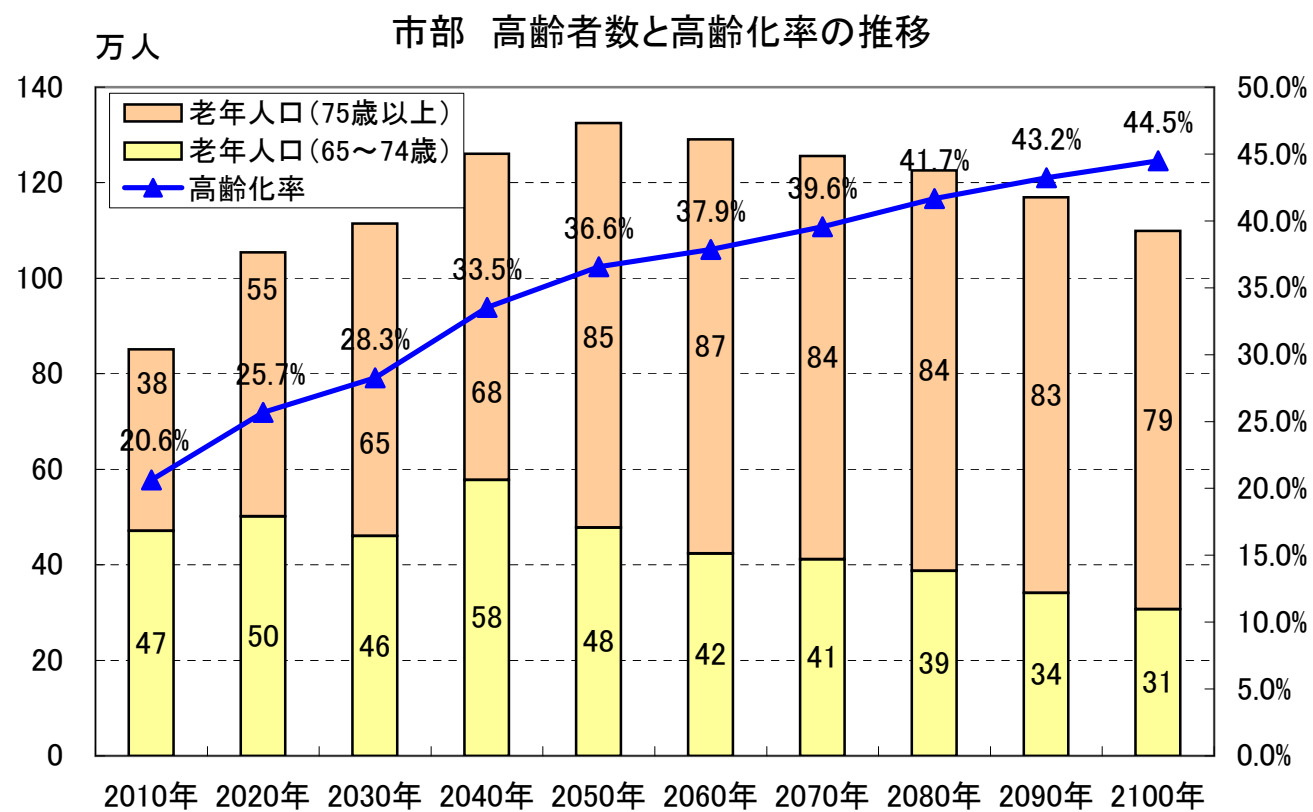
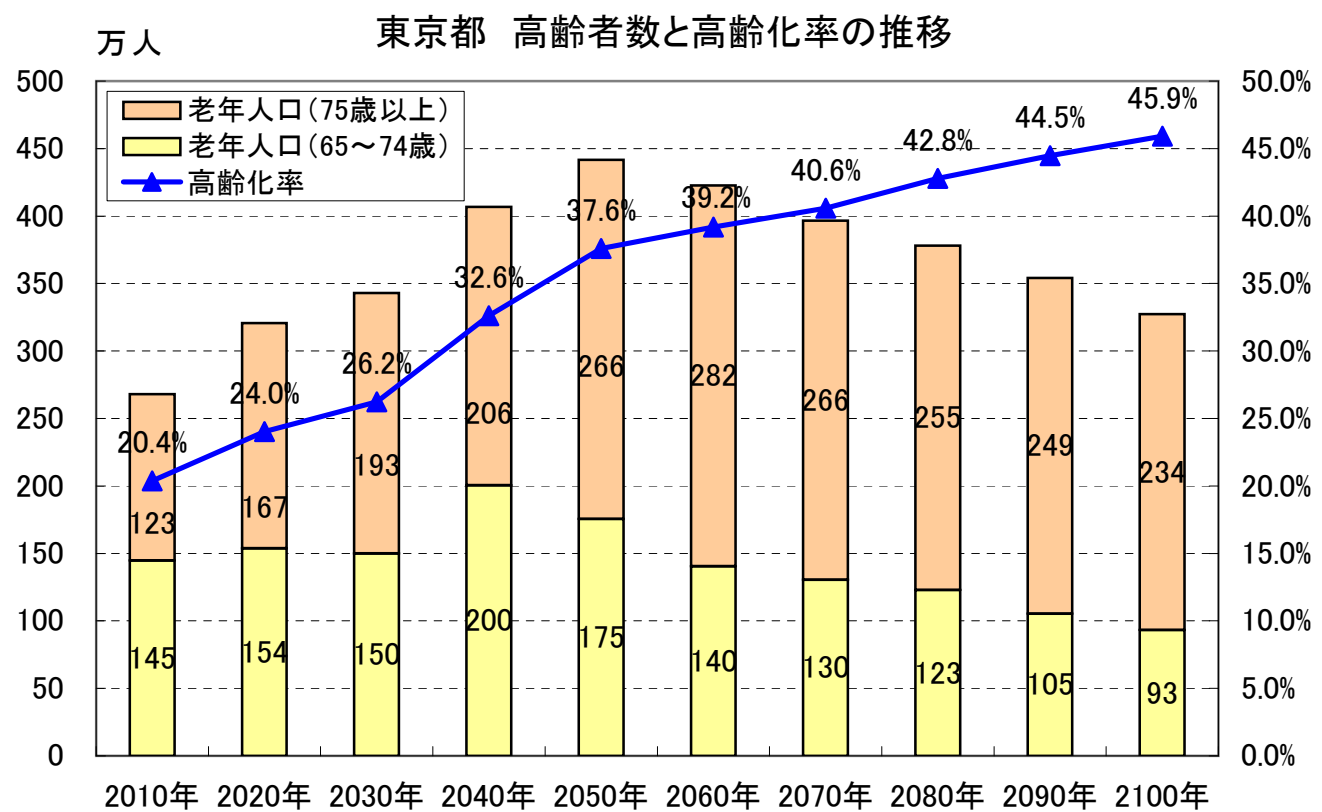
町村部 将来人口推計



	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	12.2%	11.2%	10.1%	9.6%	9.8%	9.8%	9.6%	9.3%	9.2%	9.0%
生産年齢人口比率	60.4%	54.3%	52.0%	49.3%	48.9%	49.4%	48.8%	47.7%	46.9%	46.5%
老年人口(65~74歳)比率	13.6%	16.5%	13.6%	15.5%	12.8%	12.1%	12.9%	13.0%	12.5%	12.1%
老年人口(75歳以上)比率	13.8%	17.9%	24.3%	25.6%	28.5%	28.7%	28.8%	30.0%	31.4%	32.3%

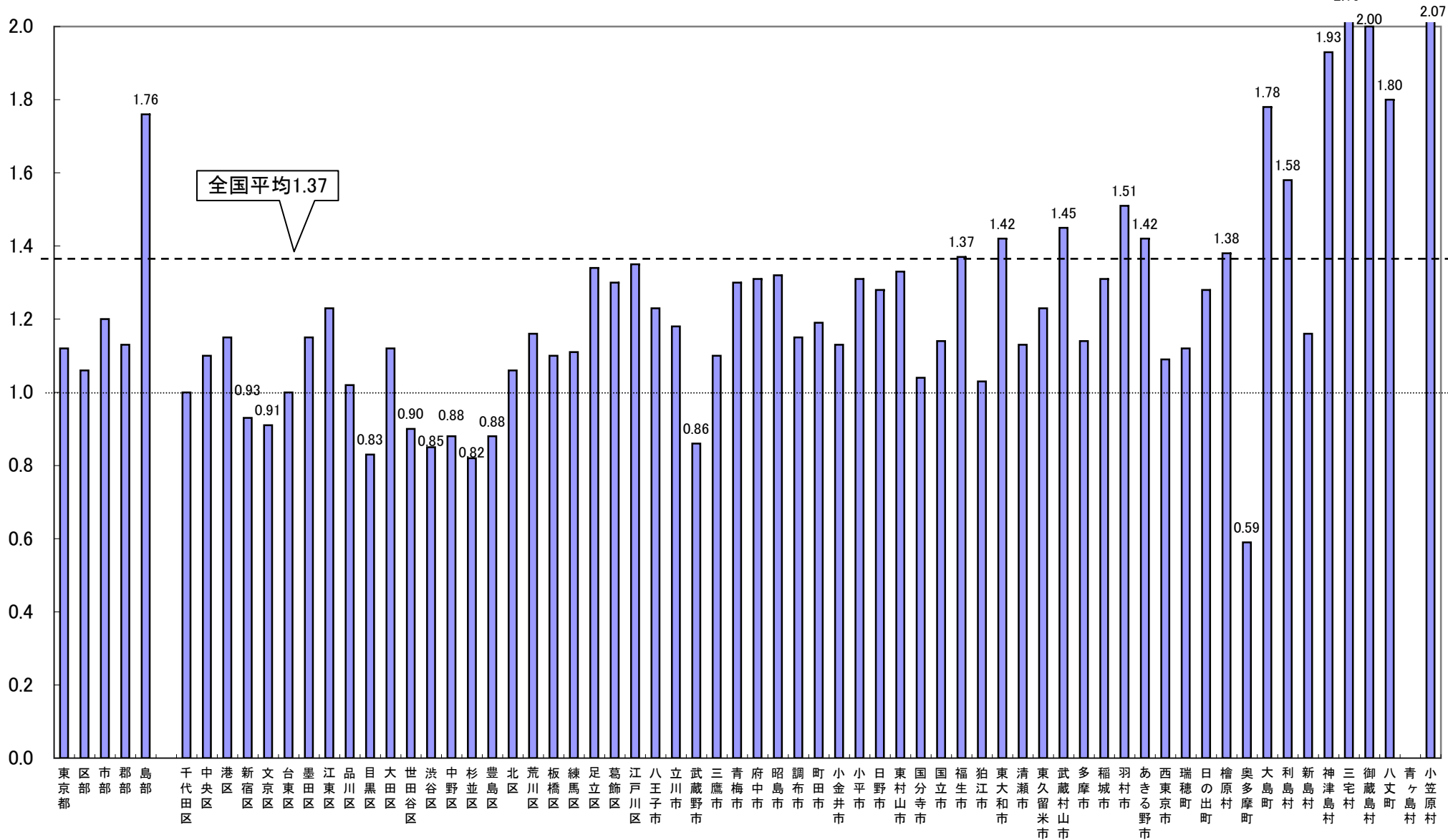
東京の高齢者数と高齢化率の推移

付表 2
(第7回資料)



区市町村別合計特殊出生率

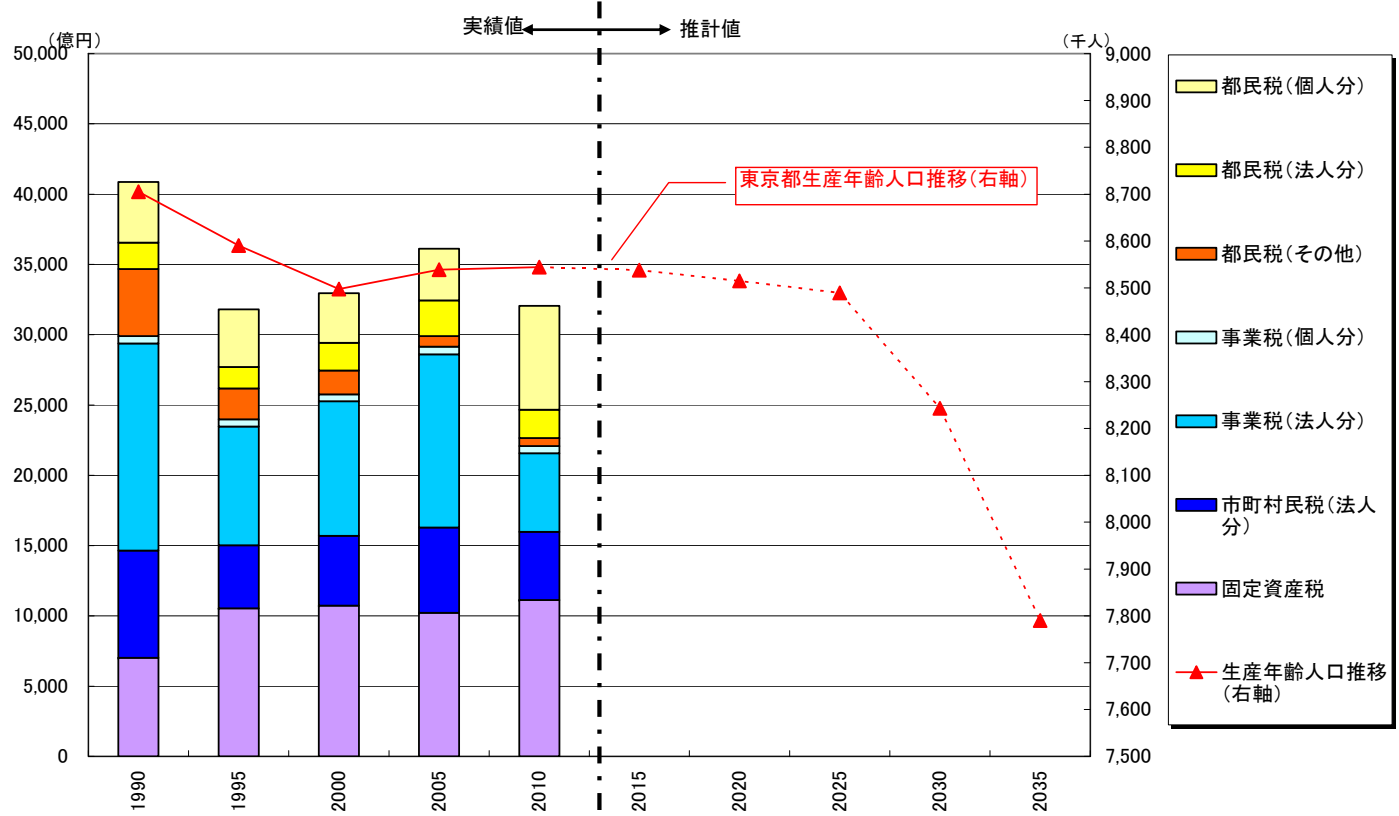
付表 3
(第6回資料)



東京都福祉保健局「平成21年版人口動態統計」(平成23年3月発行) により作成

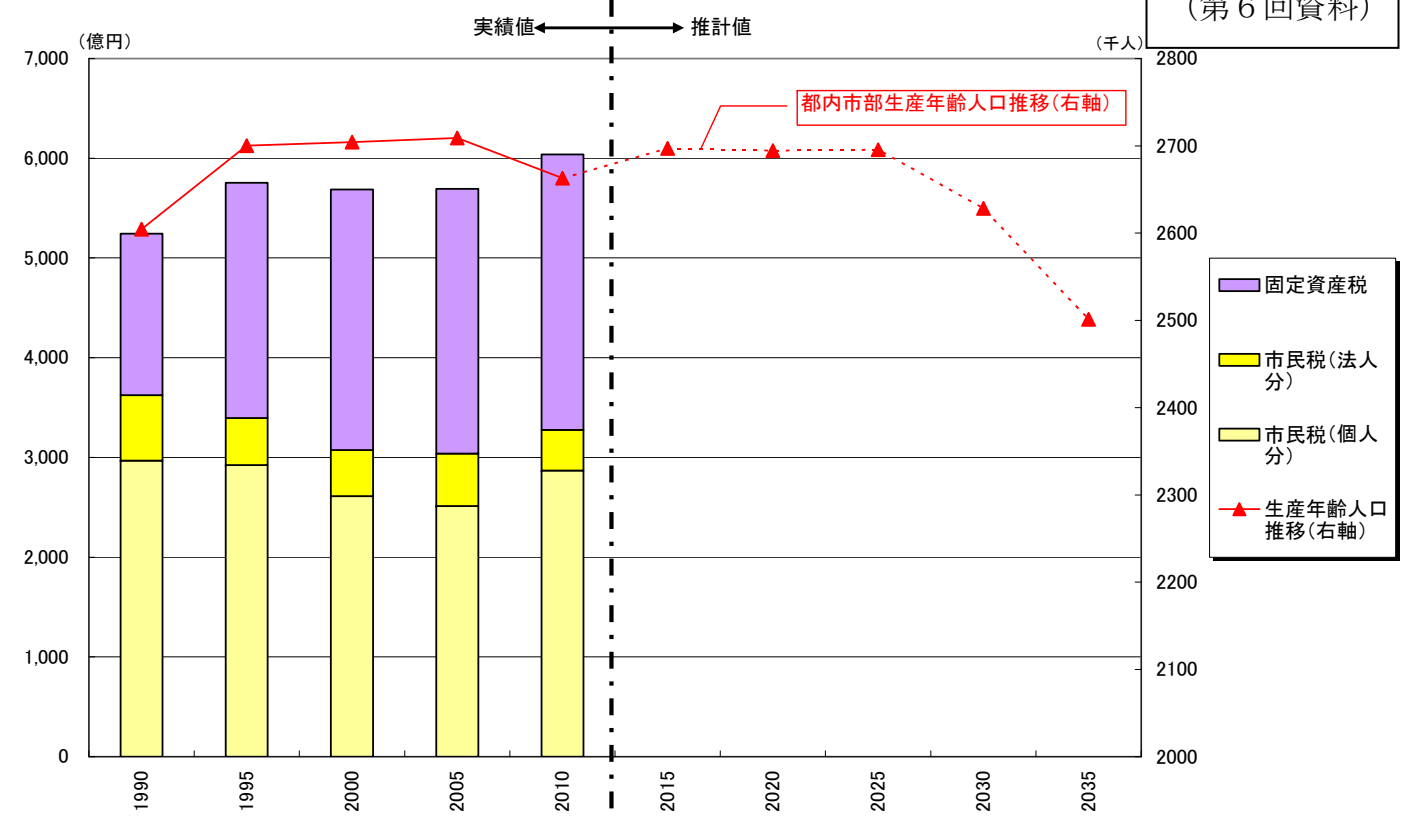
最新版に修正

東京都 地方税のうち主な普通税と生産年齢人口の推移



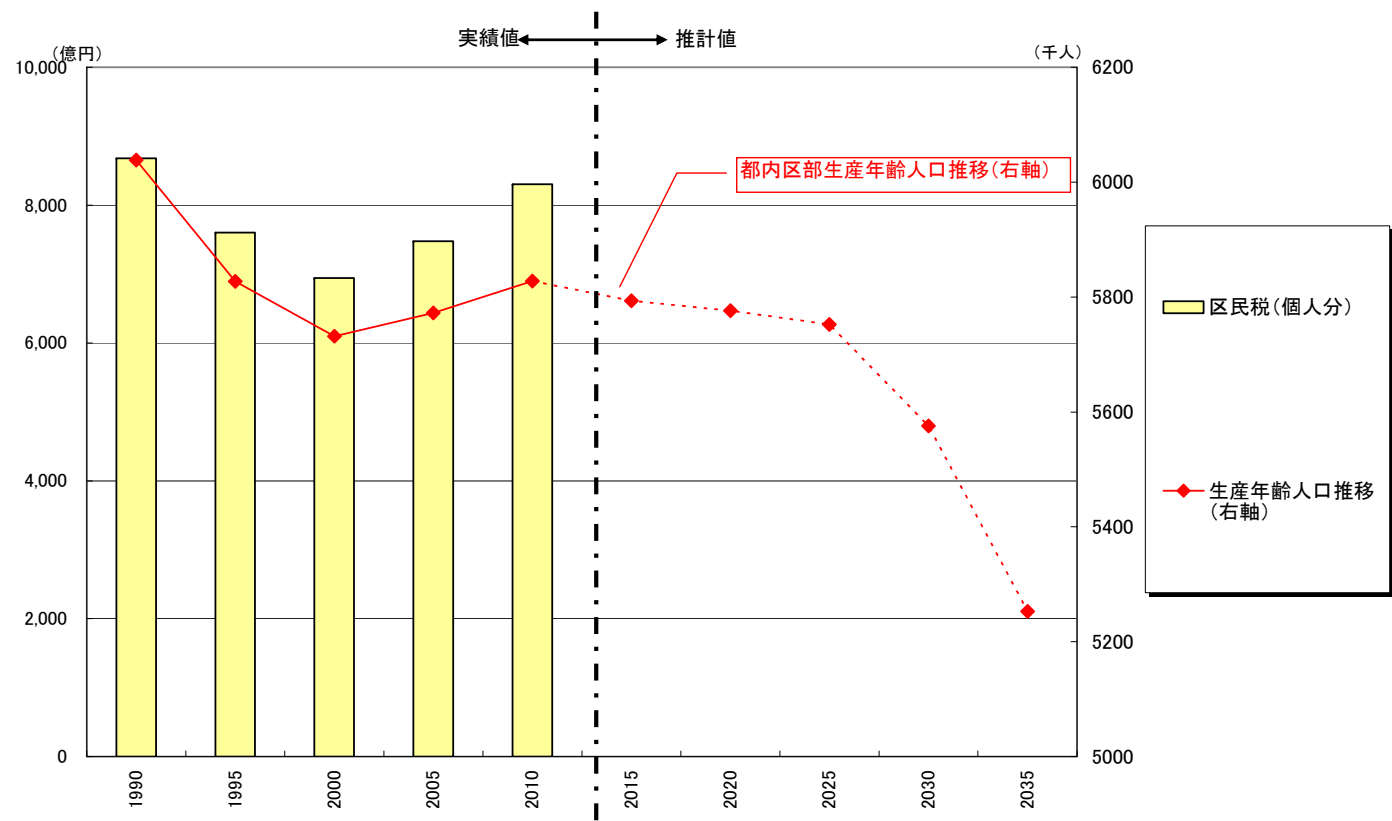
総務省「地方財政状況調査」、東京都財務局「決算の状況」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

都内市部 地方税のうち主な普通税と生産年齢人口の推移



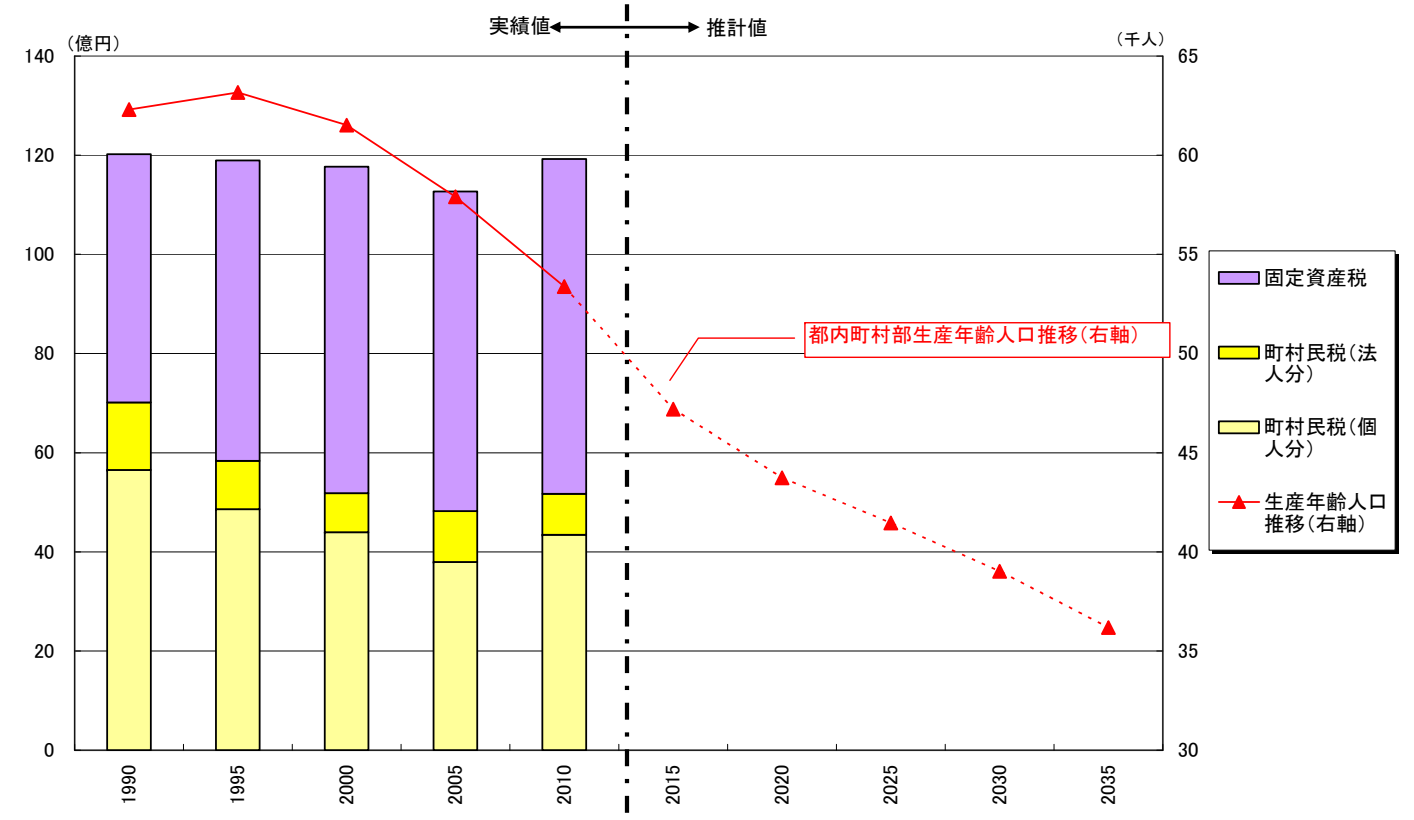
※便宜上、1990年度の税収及び人口推移に羽村町分を加算する。
総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

都内区部 地方税のうち主な普通税と生産年齢人口の推移



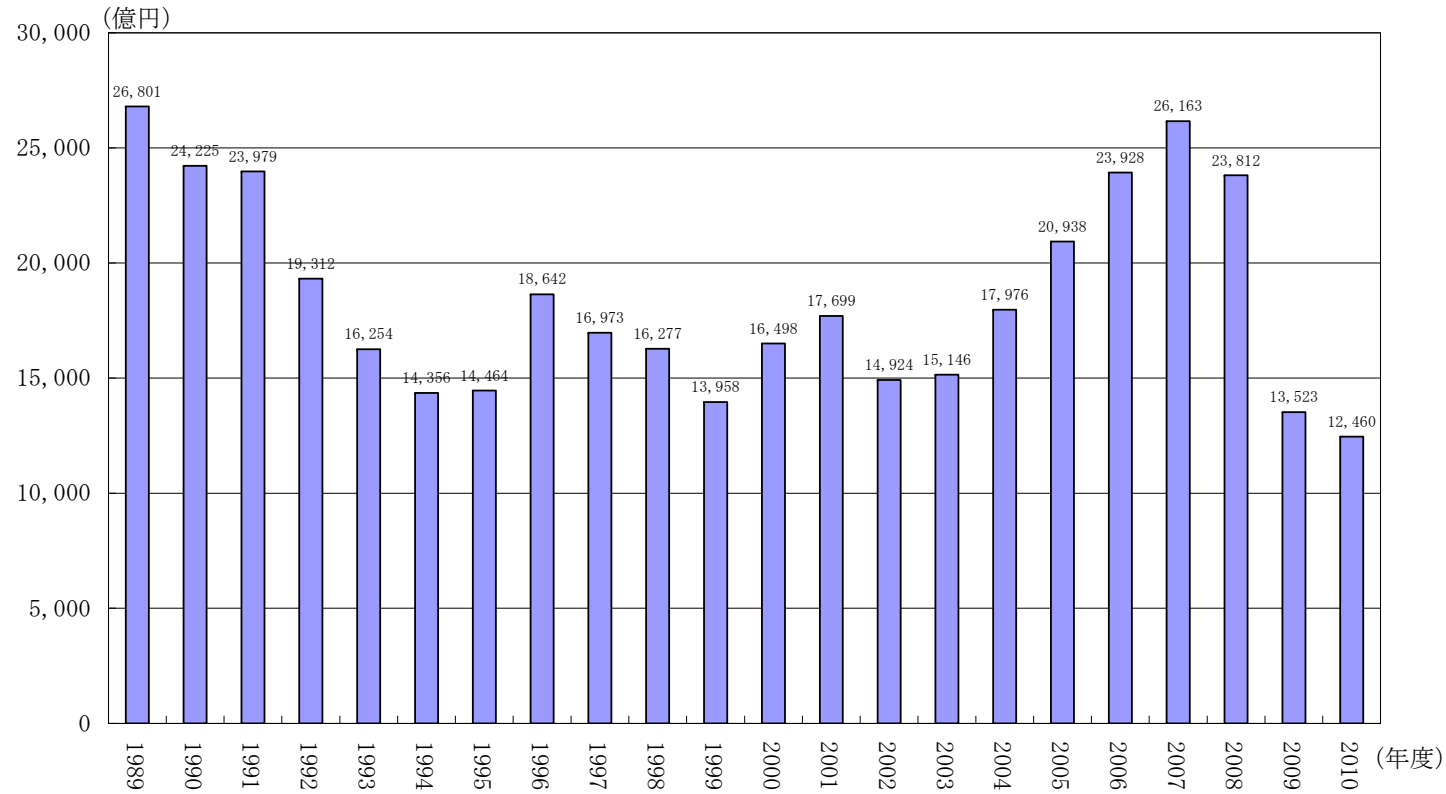
総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

都内町村部 地方税のうち主な普通税と生産年齢人口の推移



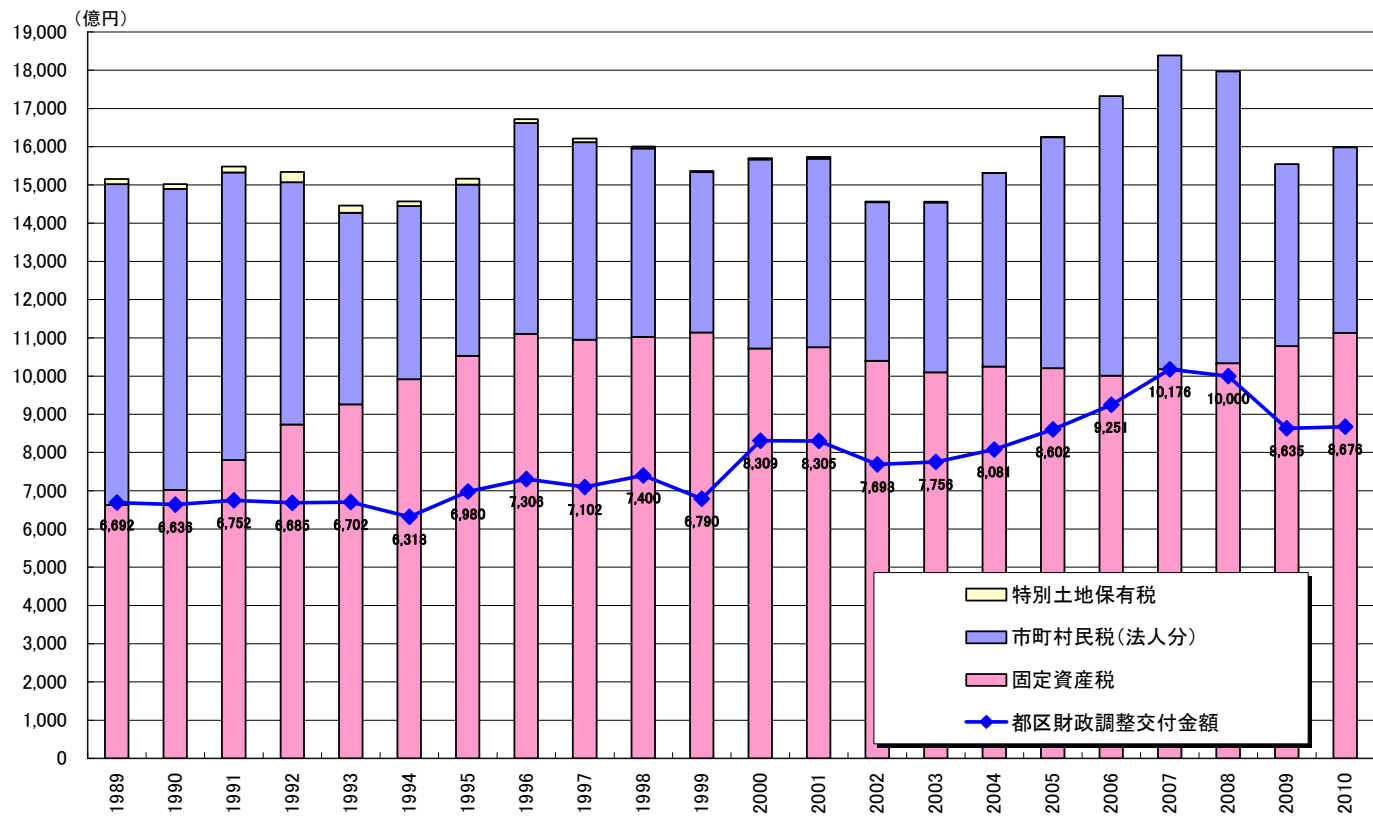
※便宜上、1990年度の税収及び人口推移から羽村町分を除く。
総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

東京都の法人二税の推移



※東京都の法人二税・・・都民税法人分、法人事業税、および都が課税徴収している特別区民税法人分の合算額
東京都財務局「決算の状況」および「平成21年度東京都年次財務報告書」より作成

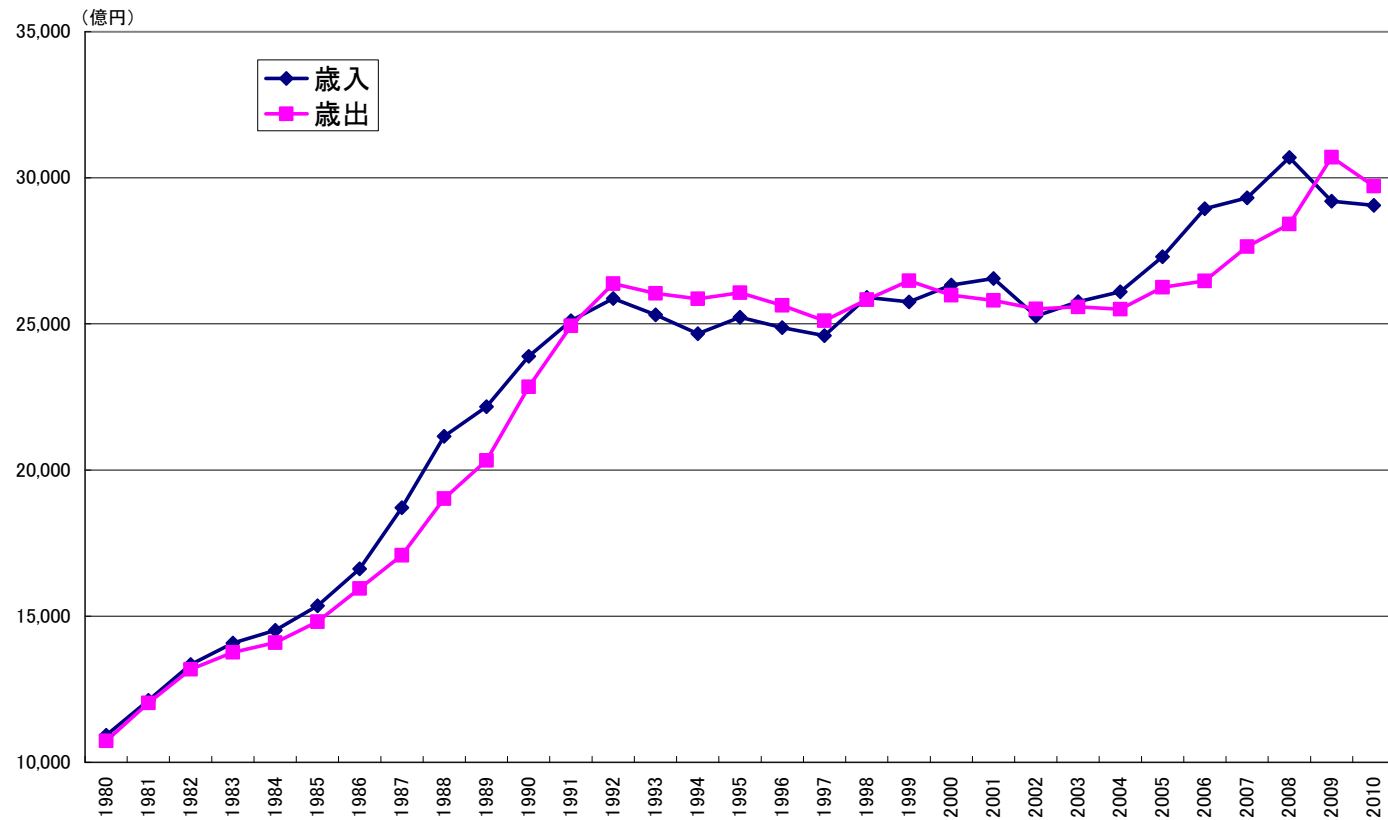
東京都 財調3税と交付金額の推移



東京都財務局「決算の状況」より作成

都内区部 一般会計決算 歳入歳出額の推移

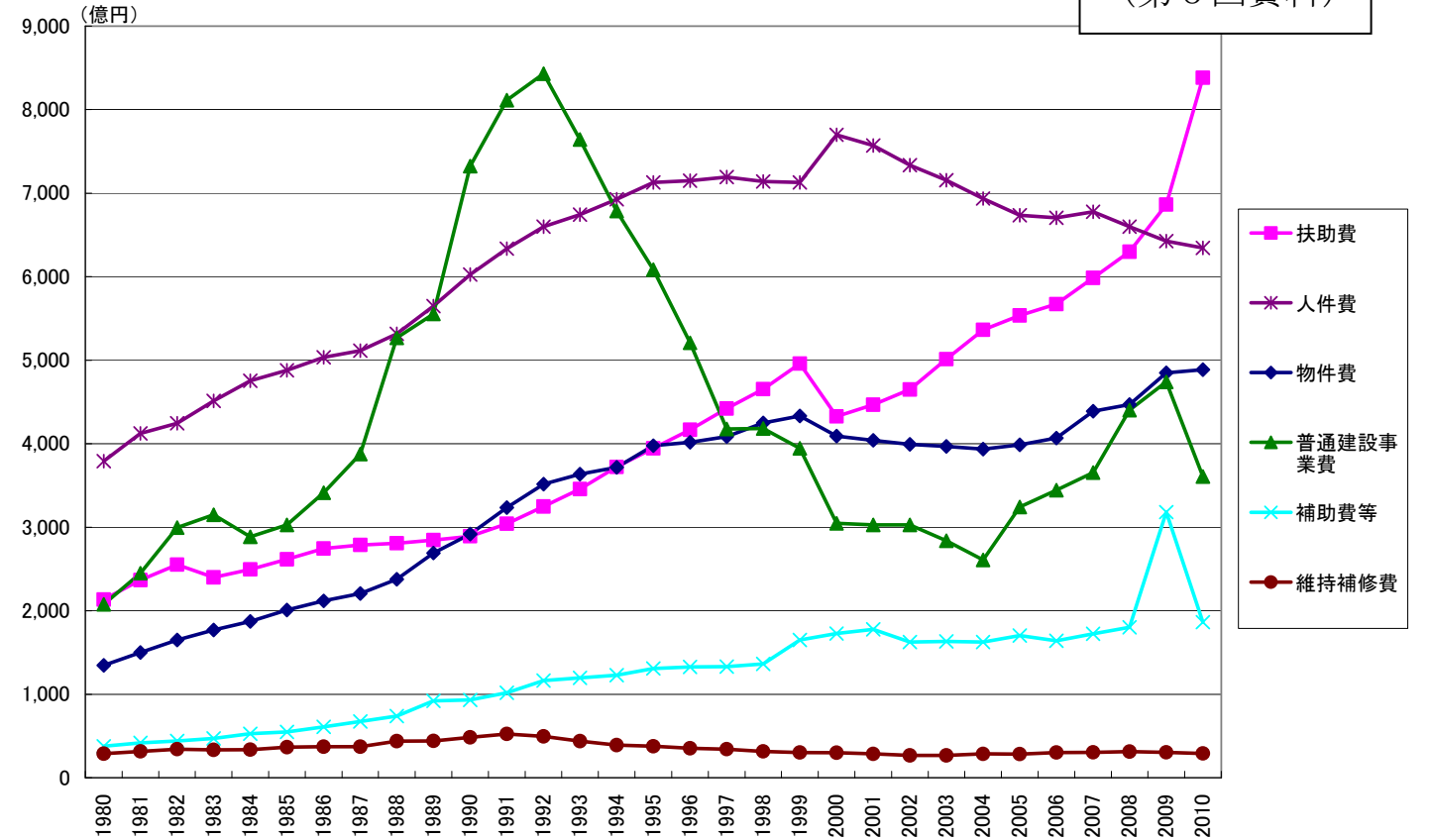
※歳入から繰入金・繰越金、歳出から積立金をそれぞれ除く



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」より作成

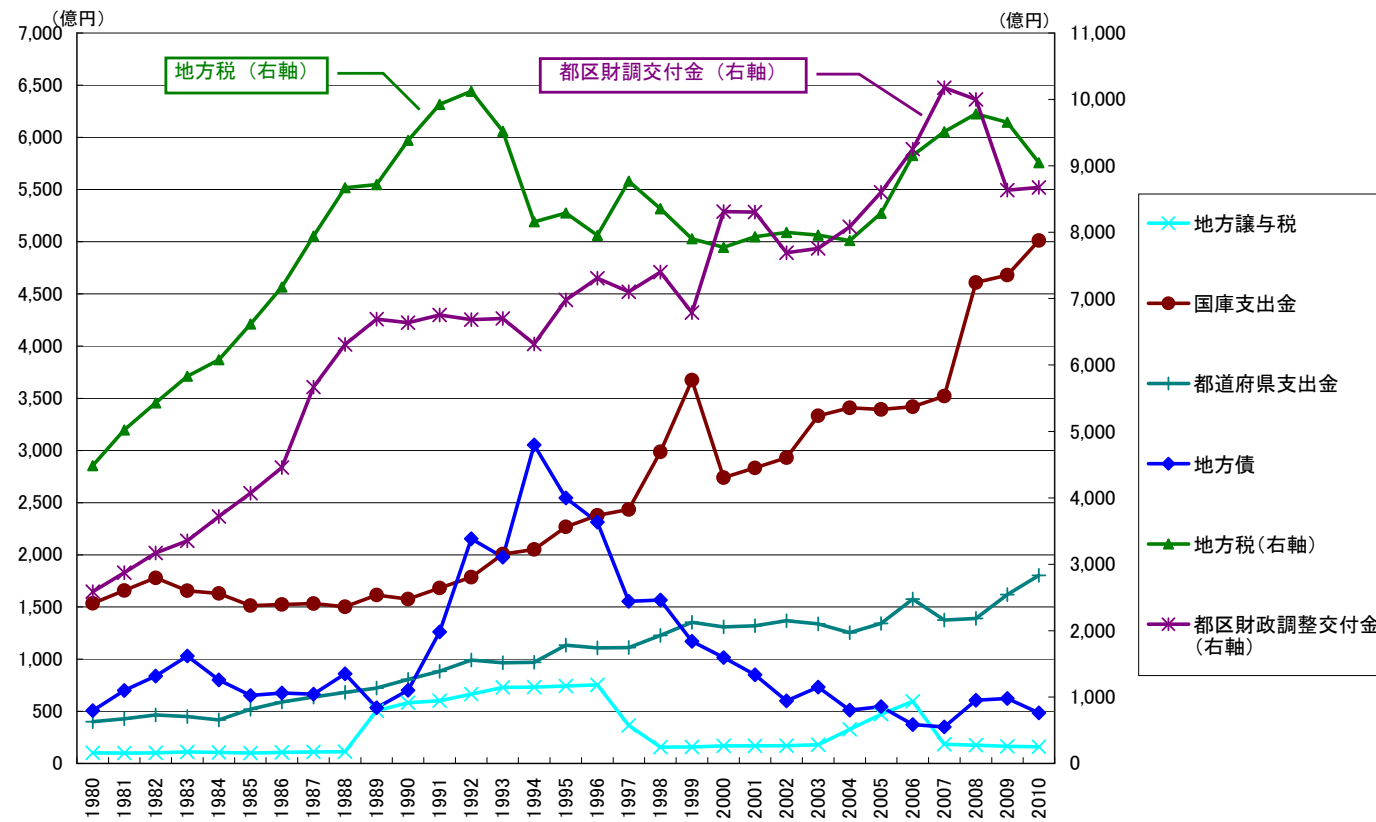
付表 6
(第6回資料)

都内区部 一般会計決算 主な性質別歳出の推移



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」より作成

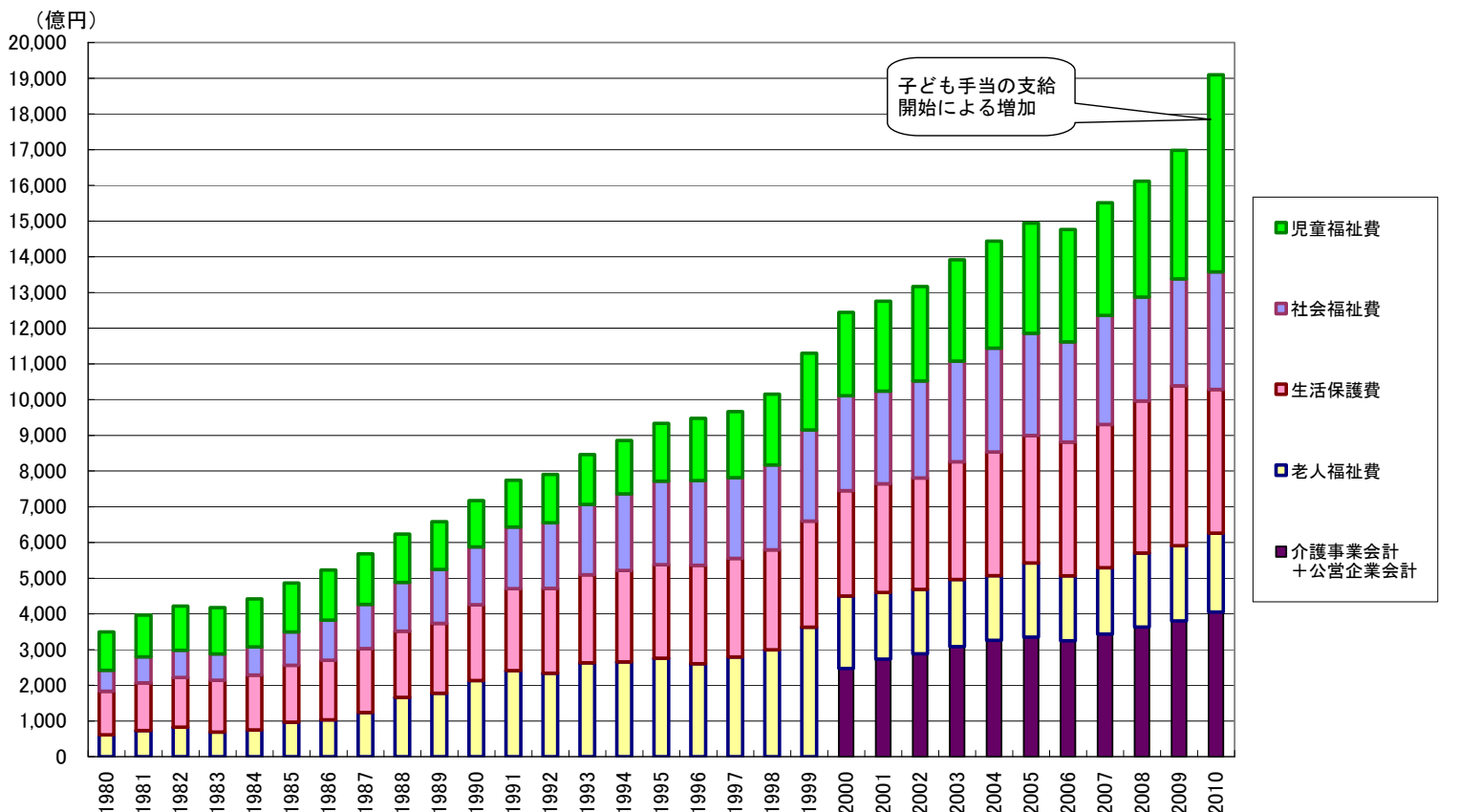
都内区部 一般会計決算 主な歳入の推移



※国庫支出金における1998年～1999年の大幅増は、地域振興券交付事業補助金及び介護円滑導入特例交付金、2008年は定額給付金給付費補助金によるもの

総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」より作成

都内区部 民生費等の決算額の推移

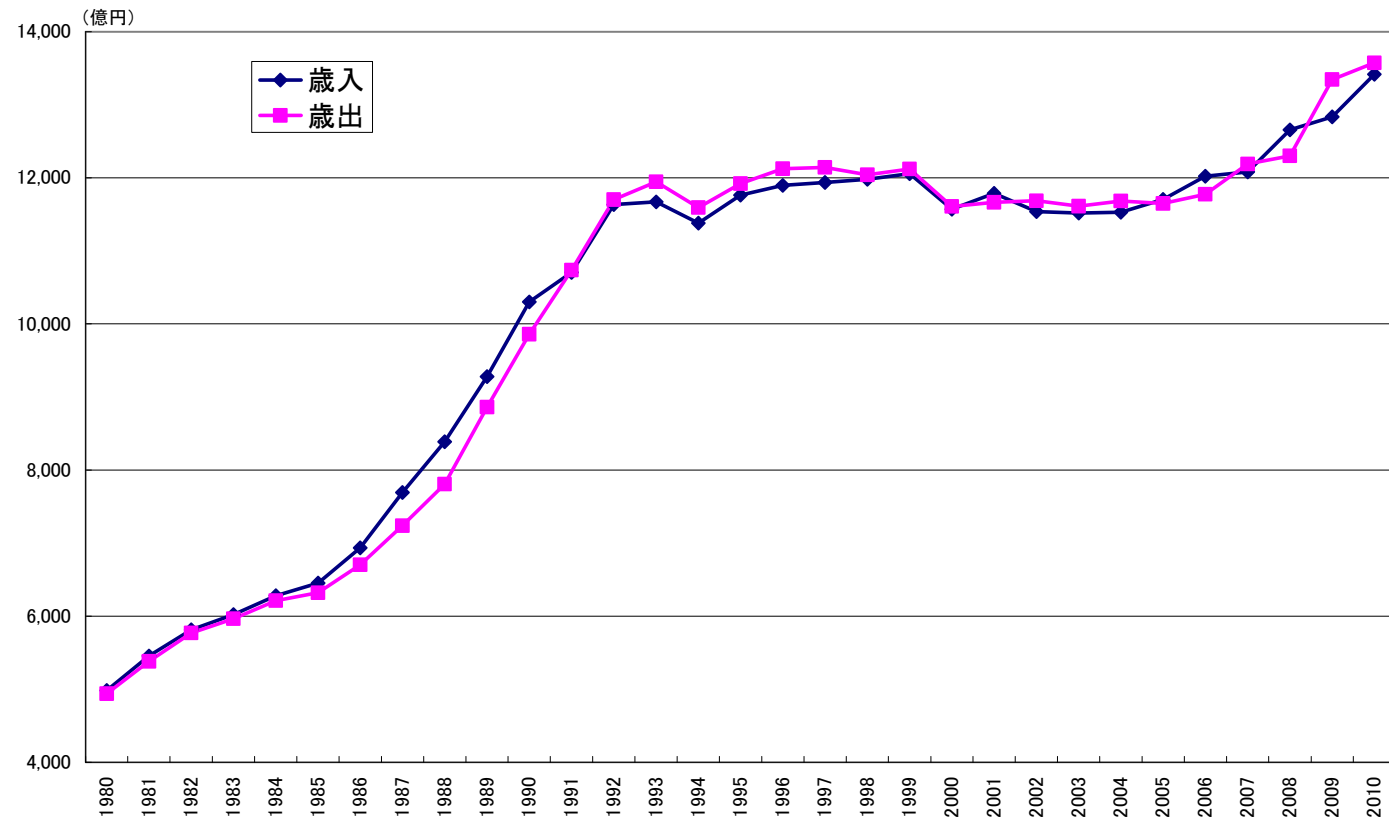


子ども手当の支給開始による増加

総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」より作成

都内市部 一般会計決算 歳入歳出額の推移

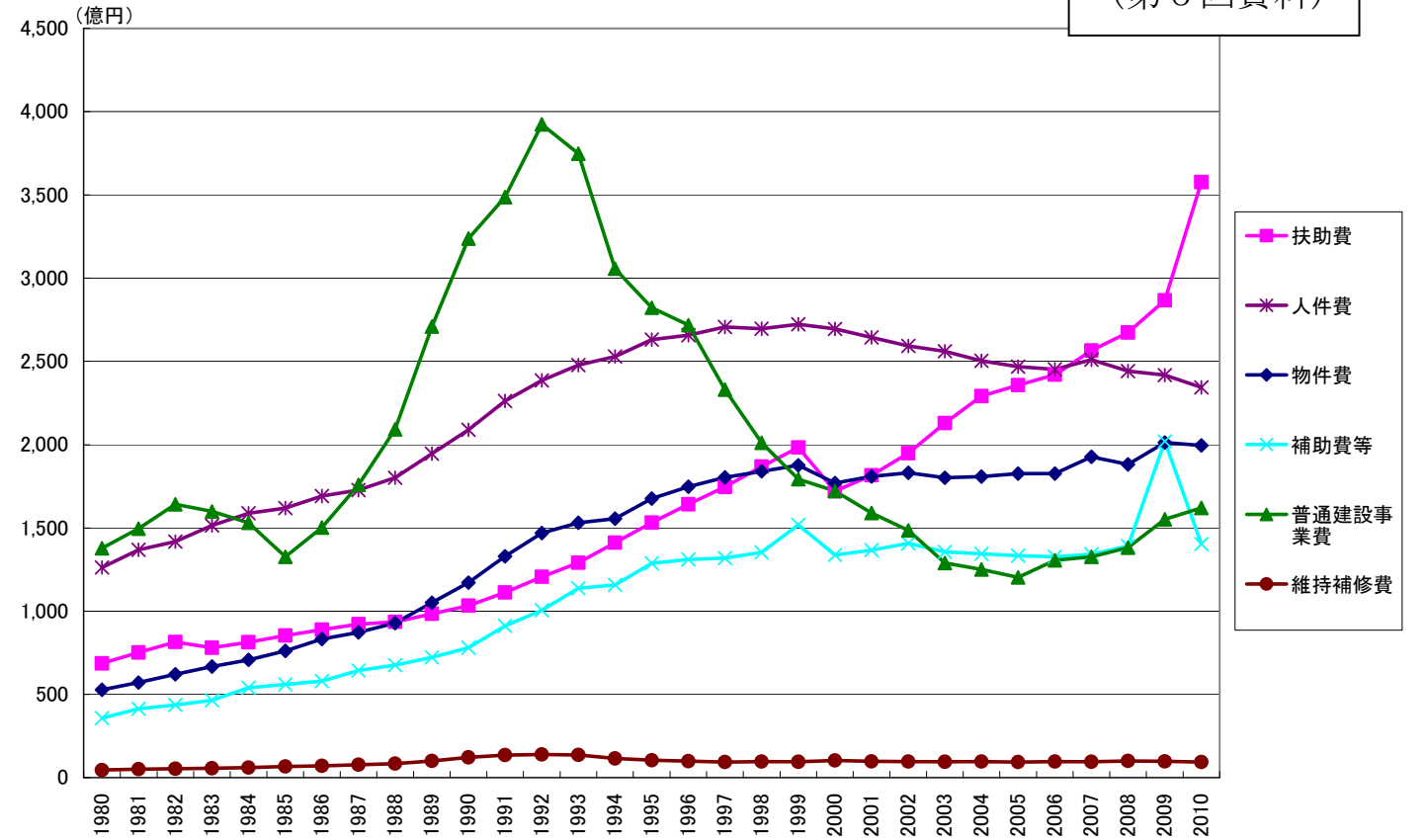
※歳入から繰入金・繰越金、歳出から積立金をそれぞれ除く



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

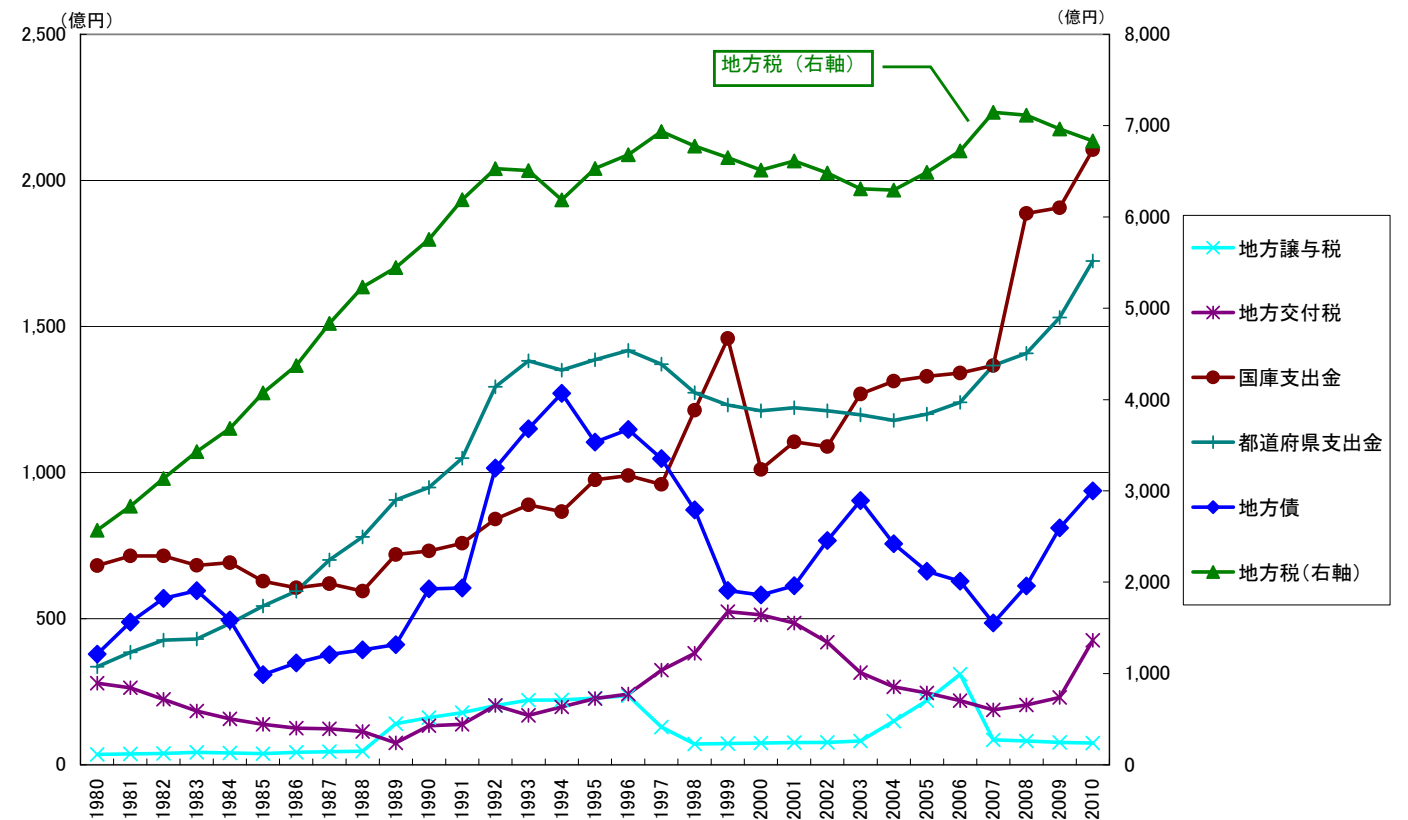
付表 7
(第6回資料)

都内市部 一般会計決算 主な性質別歳出の推移



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

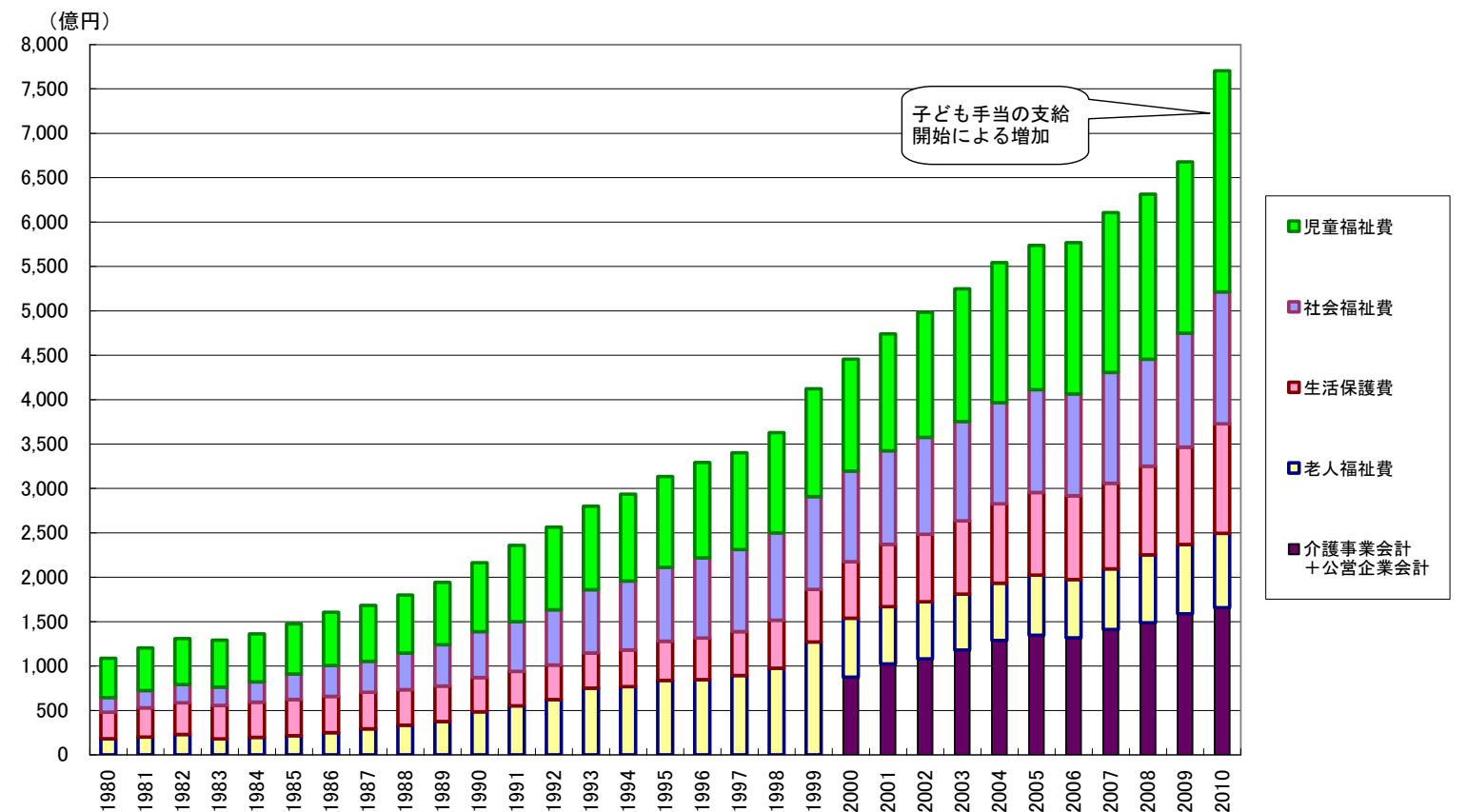
都内市部 一般会計決算 主な歳入の推移



※国庫支出金における1998年～1999年の大幅増は、地域振興券交付事業補助金及び介護円滑導入特例交付金、2008年は定額給付金給付費補助金によるもの

総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

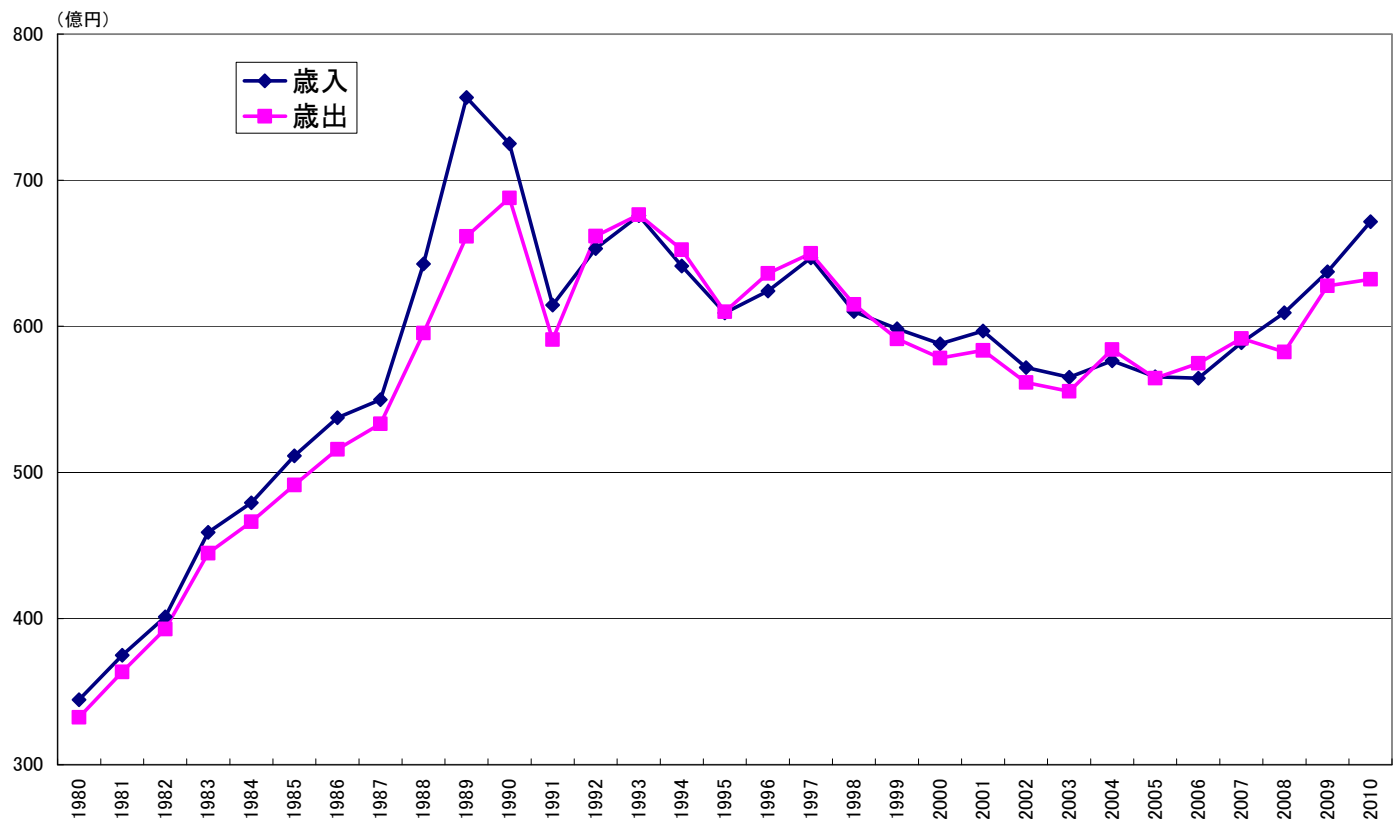
都内市部 民生費等の決算額の推移



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

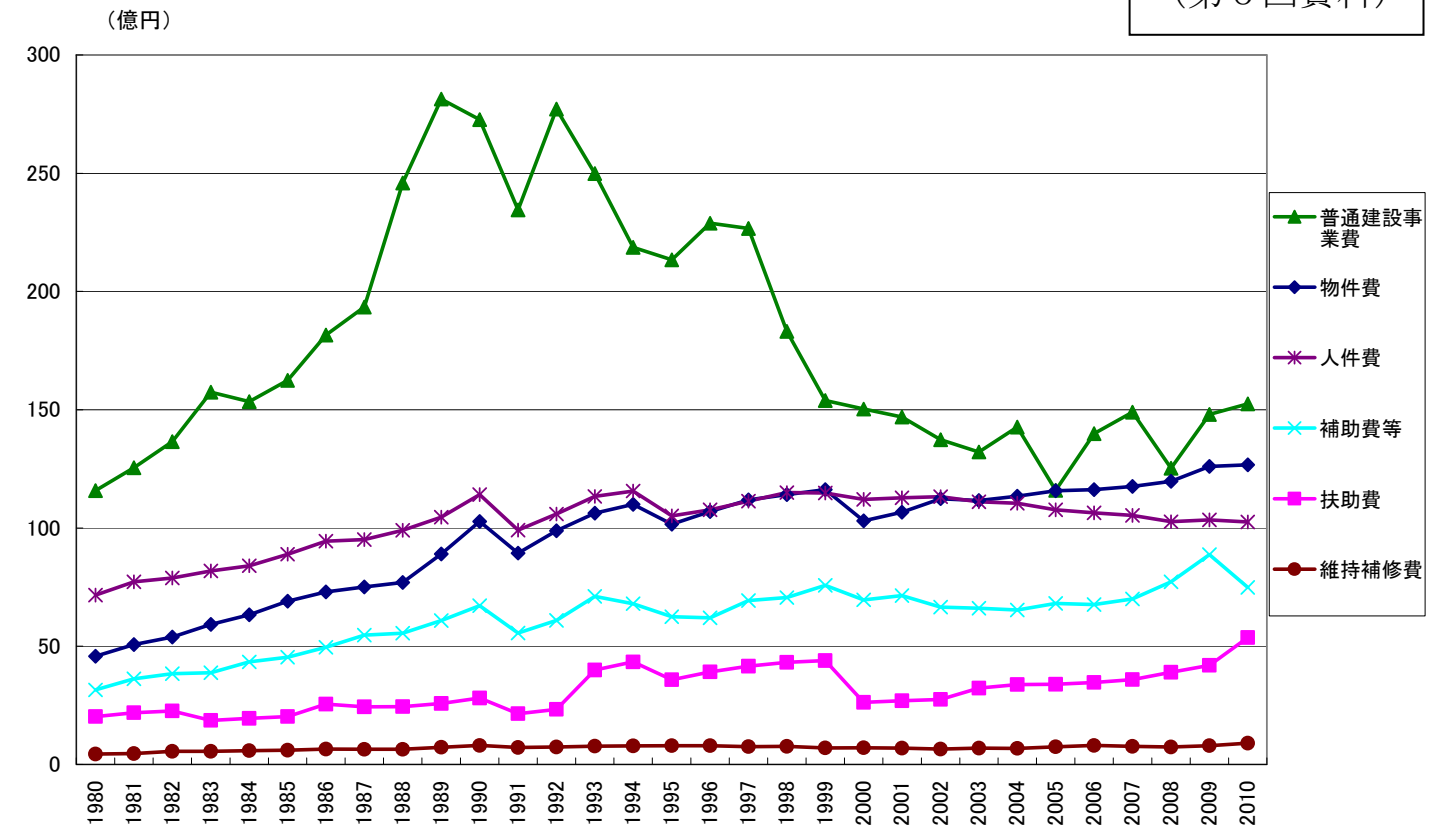
都内町村部 一般会計決算 歳入歳出額の推移

※歳入から繰入金・繰越金、歳出から積立金をそれぞれ除く



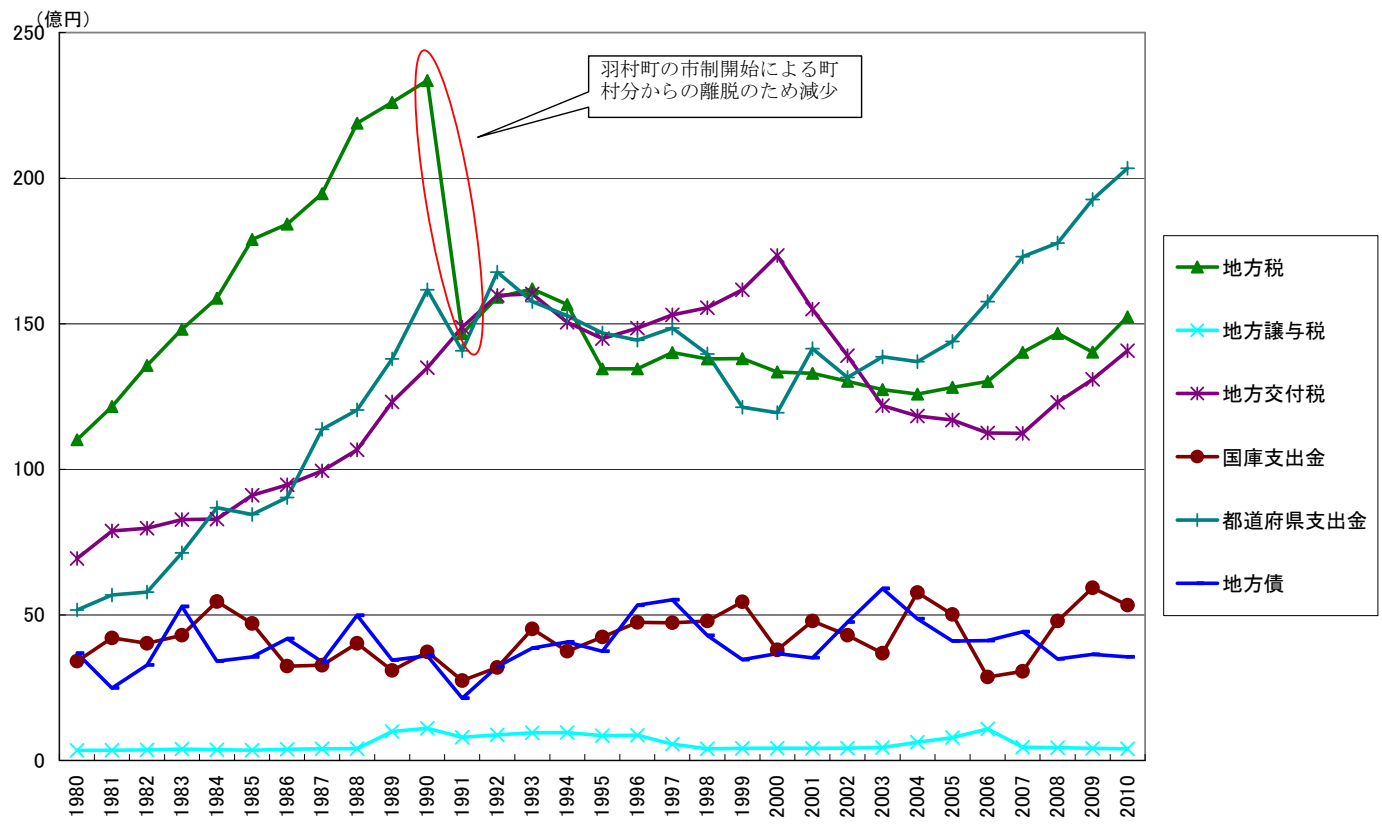
総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

都内町村部 一般会計決算 主な性質別歳出の推移



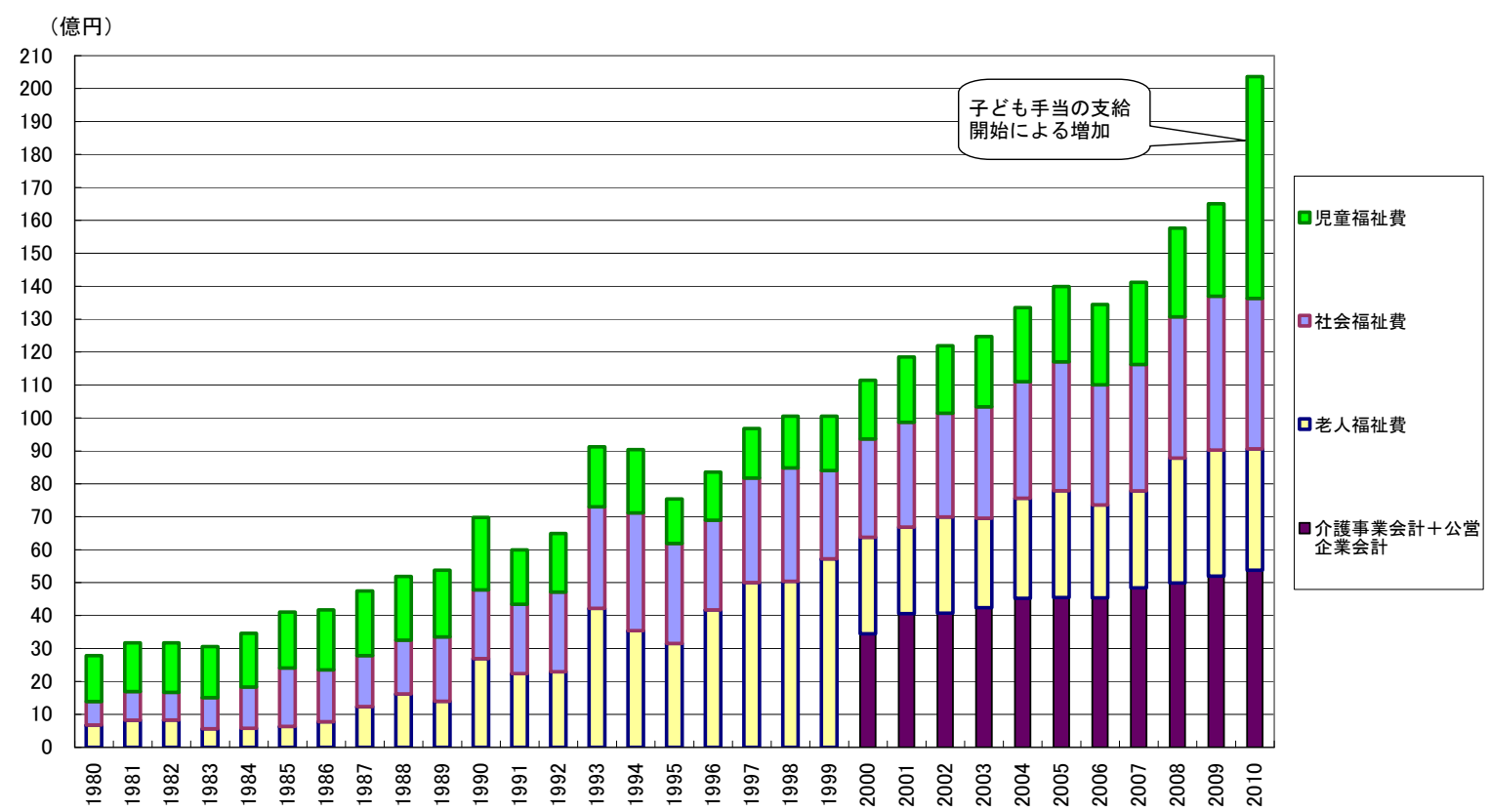
総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

都内町村部 一般会計決算 主な歳入の推移



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

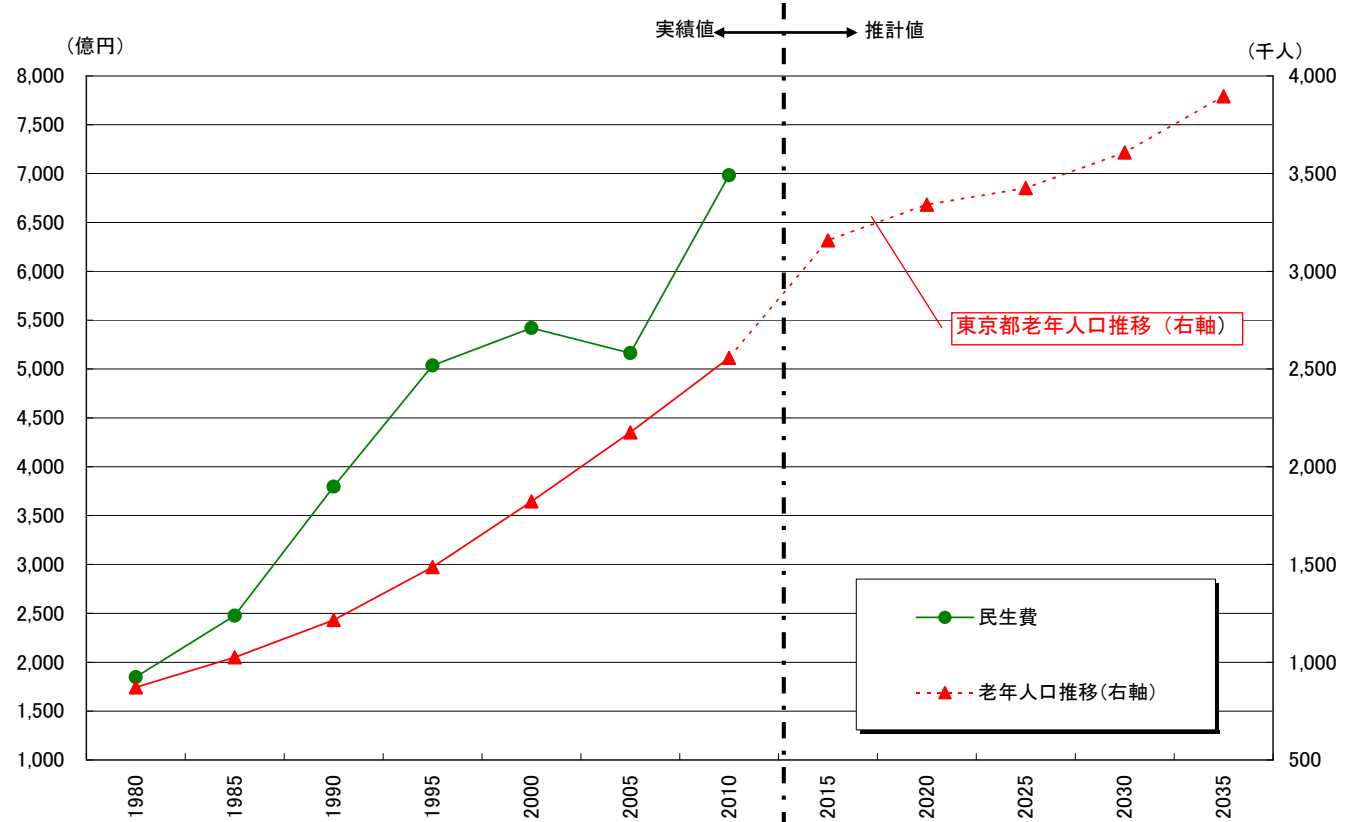
都内町村部 民生費等の決算額の推移



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」より作成

東京都 児童福祉費を除く主な民生費と老年人口の推移

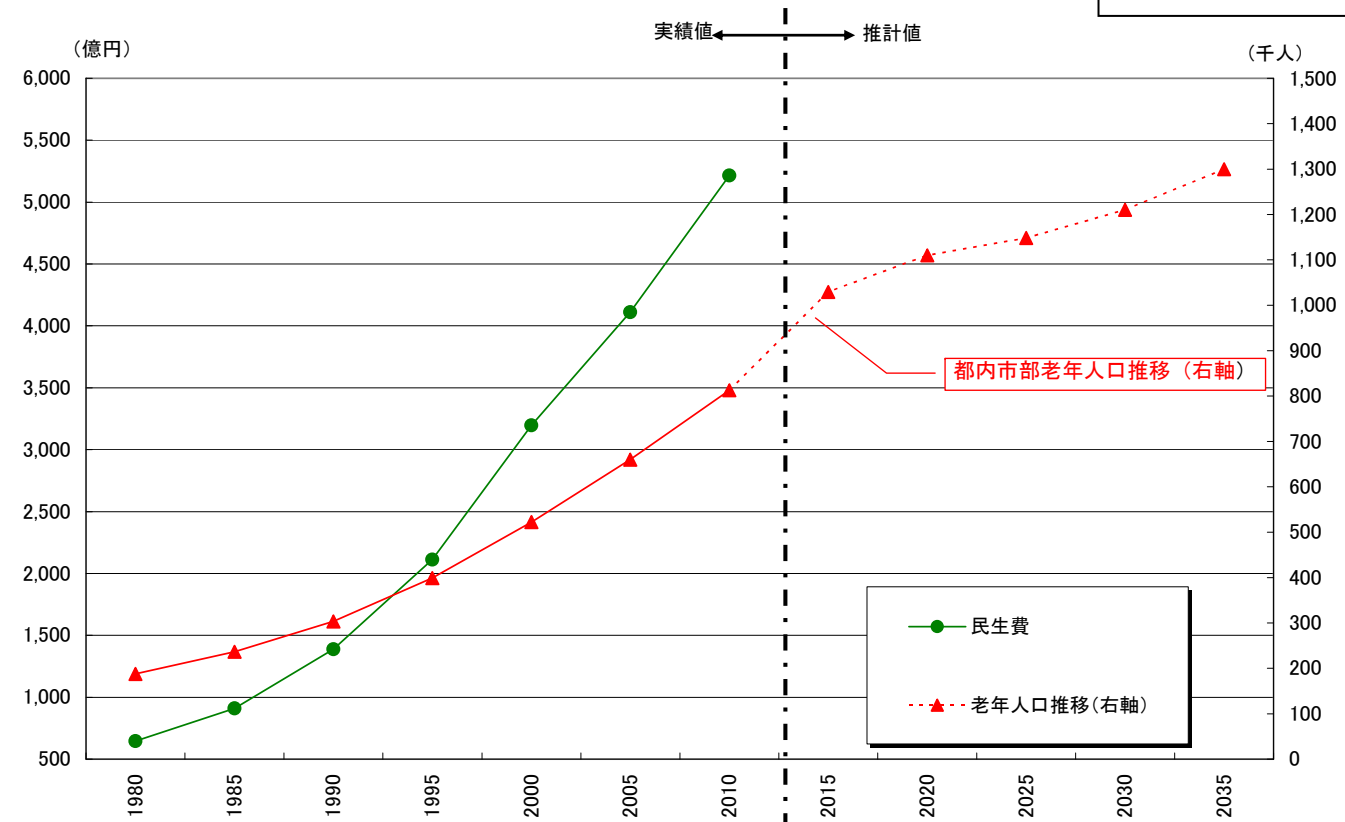
※ここでの民生費は社会福祉費、老人福祉費、生活保護費の合算額としている。



総務省「地方財政状況調査」、東京都財務局「決算の状況」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

都内市部 児童福祉費を除く主な民生費と老年人口の推移

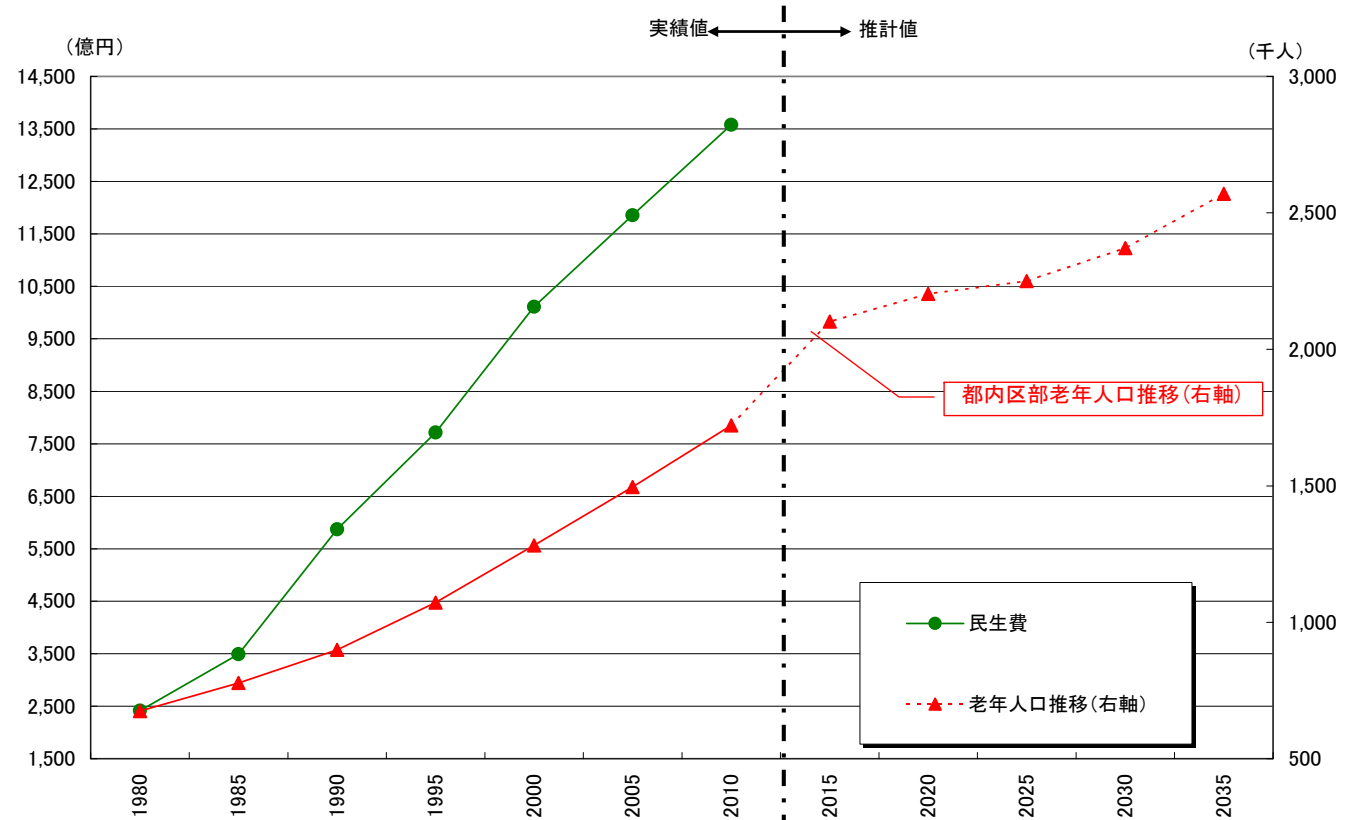
※ここでの民生費は社会福祉費、老人福祉費、生活保護費の合算額としている。



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

都内区部 児童福祉費を除く主な民生費と老年人口の推移

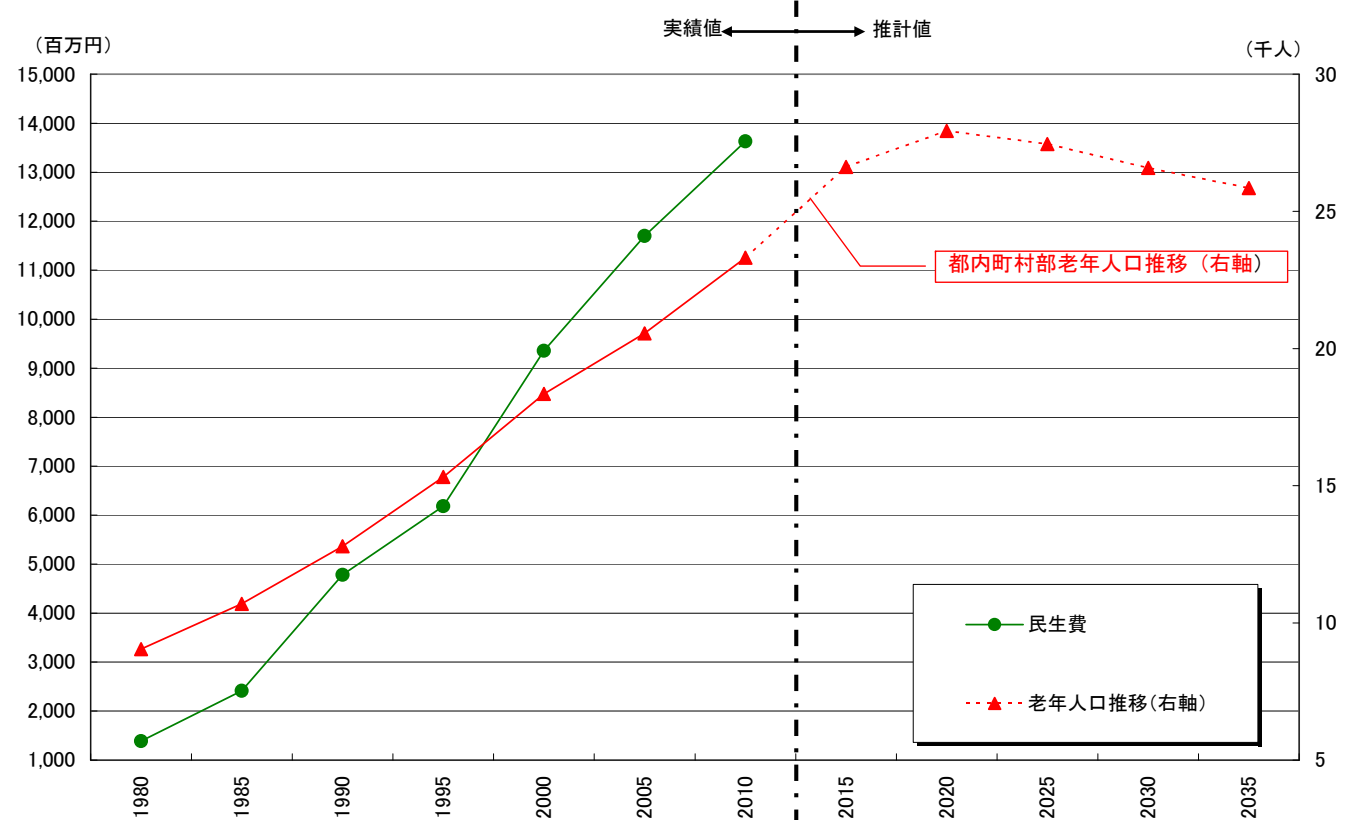
※ここでの民生費は社会福祉費、老人福祉費、生活保護費の合算額としている。



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「特別区決算状況」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

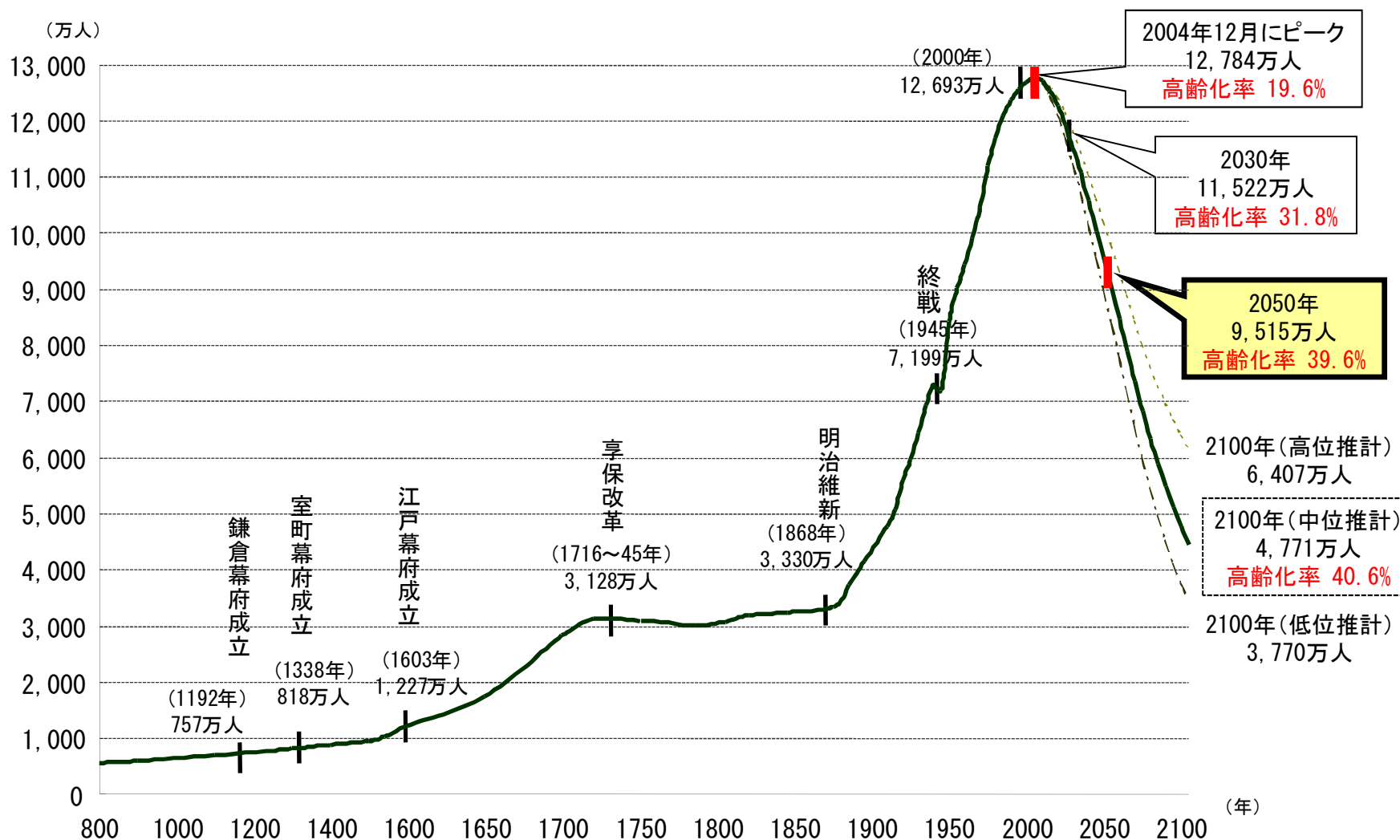
都内町村部 児童福祉費を除く主な民生費と老年人口の推移

※ここでの民生費は社会福祉費、老人福祉費の合算額としている。



総務省「地方財政状況調査」、東京都総務局「市町村決算状況調査結果」及び 国立社会保障・人口問題研究所「市町村別将来推計人口」より作成

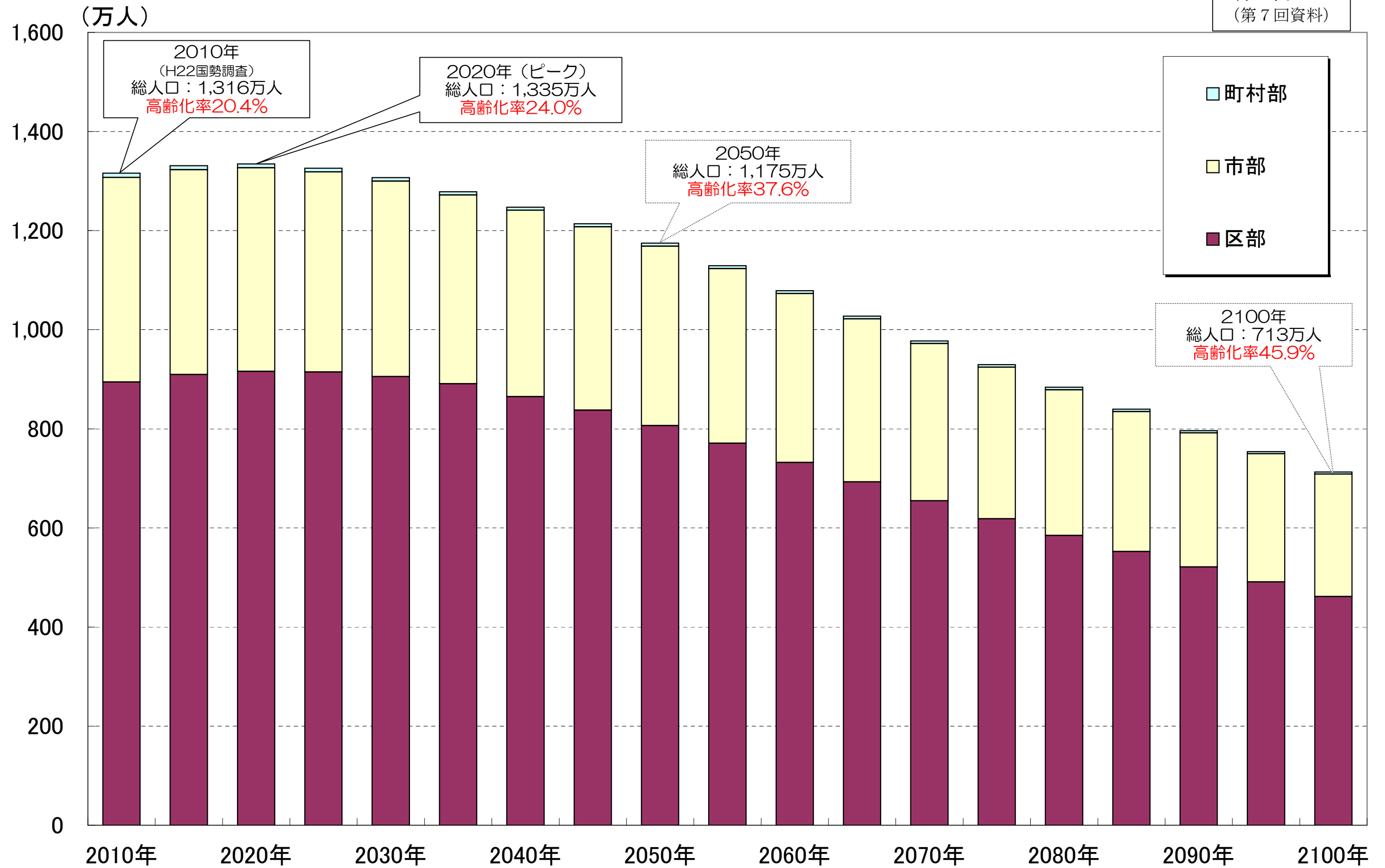
○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。
この変化は千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少。



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

東京の将来人口推計

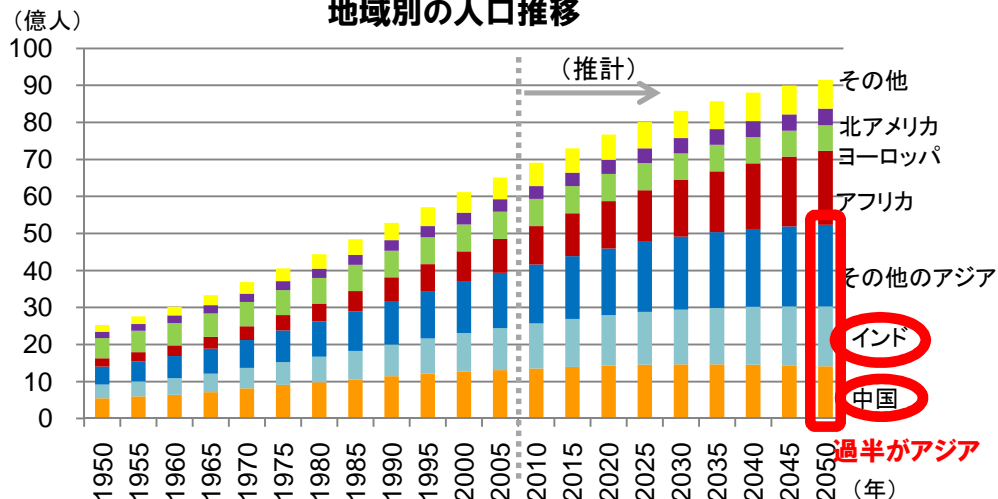
付 表 11
(第7回資料)



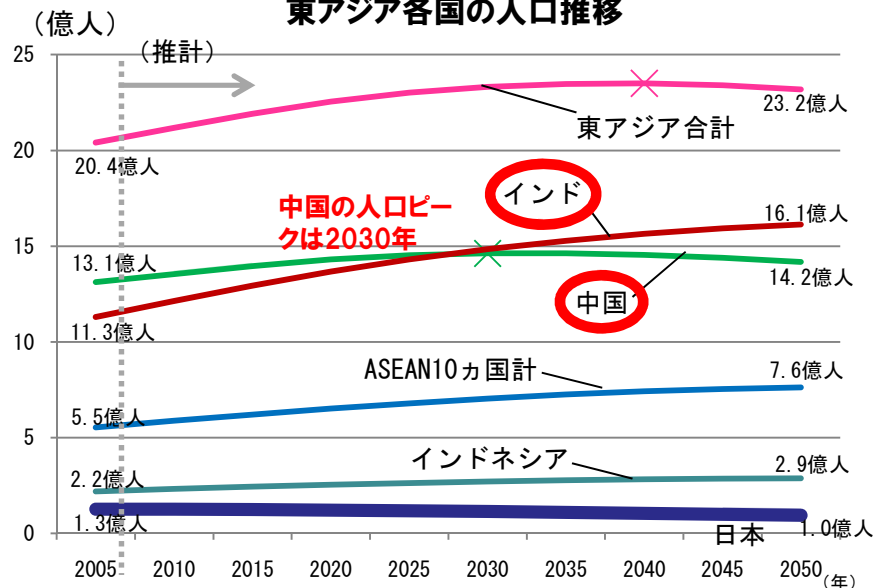
【図 I -7】 2030年に中国の人口がピークを迎え、インドが中国を抜く

○世界全体の人口は2050年まで一貫して増加傾向にある。(2005年:約70億人→2050年:約90億人)
 ○人口シェアではアジアが過半を占めるが、さらにその過半は中国とインド。2050年に向けてアジアの人口シェアはほぼ変わらない。東アジア全体では、2040年まで人口は約3億人増加するが、その後は減少に転じる。中国の人口は2030年頃をピークに減少すると見込まれる。これに対し、インドは一貫して人口が増加し、2030年には中国を抜くと見込まれる。
 ○生産年齢人口の割合では、日本は1990年をピークにすでに減少しているのに対し、韓国、中国、米国、EUでは、2010年を境に生産年齢人口の割合が増加する。インドは、2040年まで生産年齢人口の割合が増加。

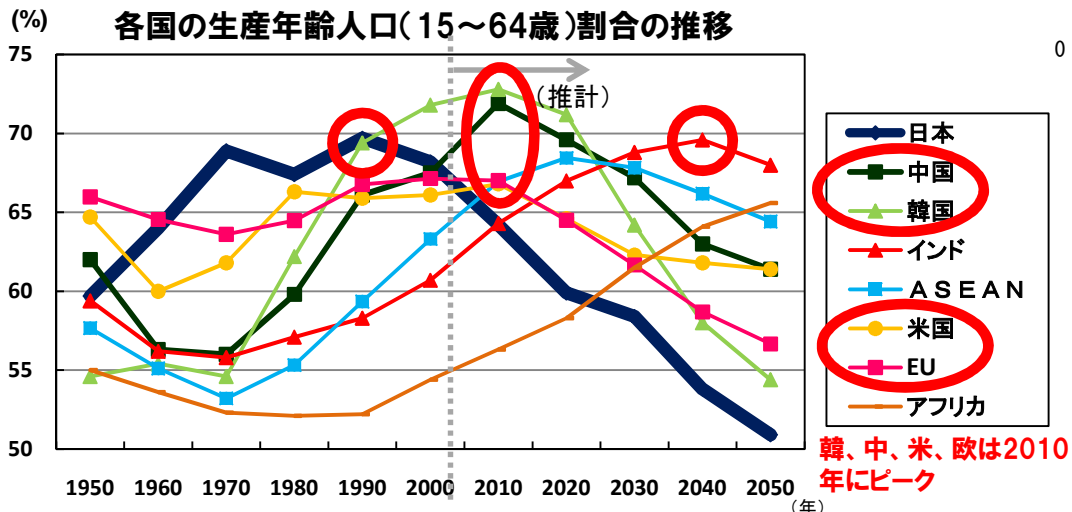
地域別の人口推移



東アジア各国の人口推移

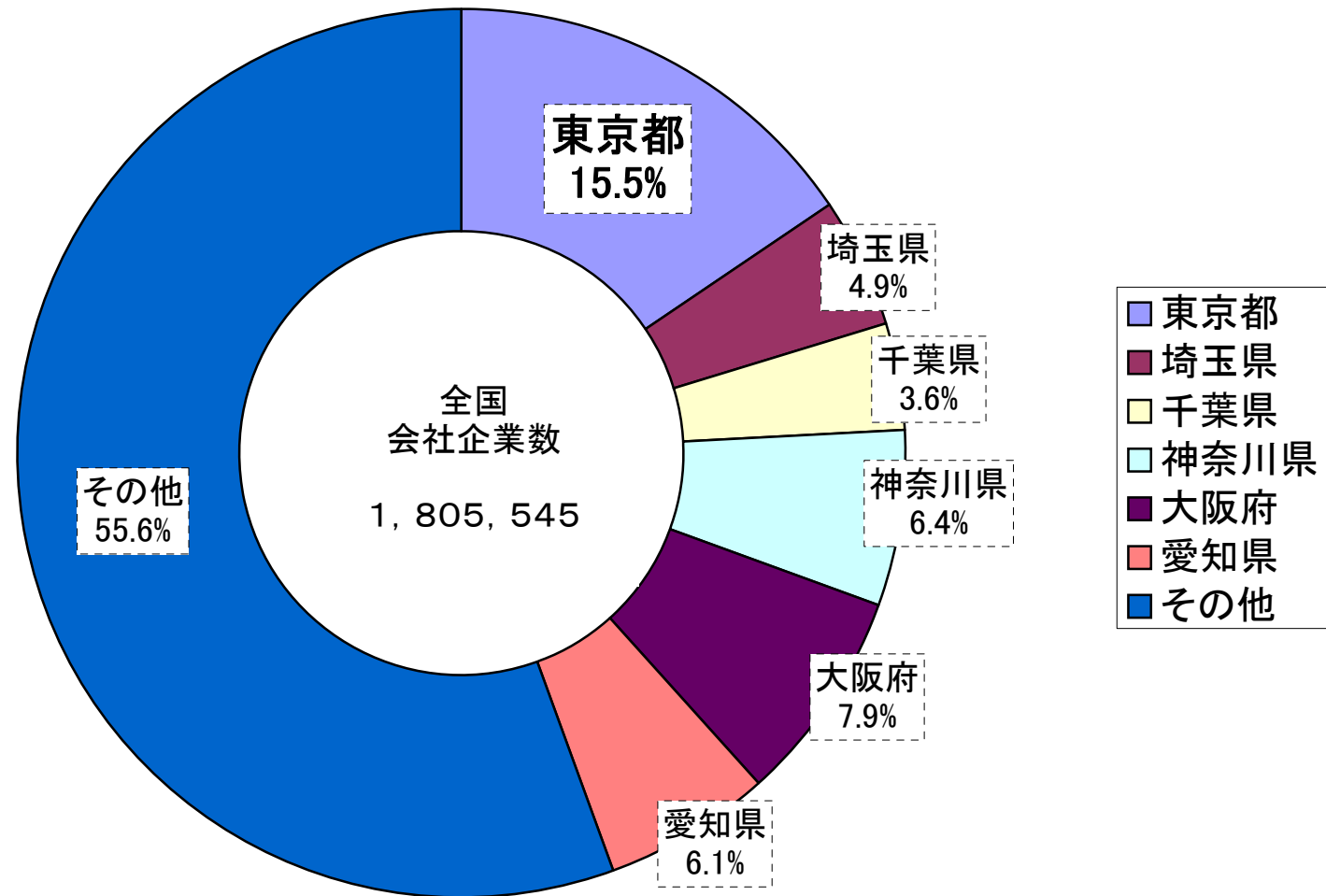


各国の生産年齢人口(15~64歳)割合の推移



(出典)「各国の人口」はWorld Population Prospects : The 2008 Revision (国際連合)、「日本の人口」は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」における出生中位(死亡中位)推計をもとに、国土交通省国土計画局作成
 (注)「東アジア合計」は、日本、中国、韓国、ASEAN10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の合計値

都道府県別会社企業数の構成比



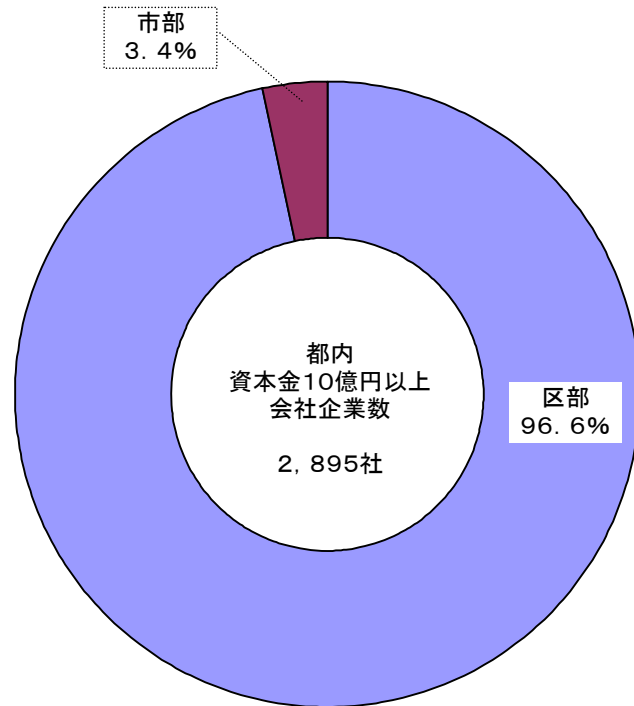
※総務省「平成21年経済センサスー基礎調査(確報)結果の概要」より作成

※三大都市圏(首都圏、中部圏、近畿圏)の中から東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府を選定し、比較

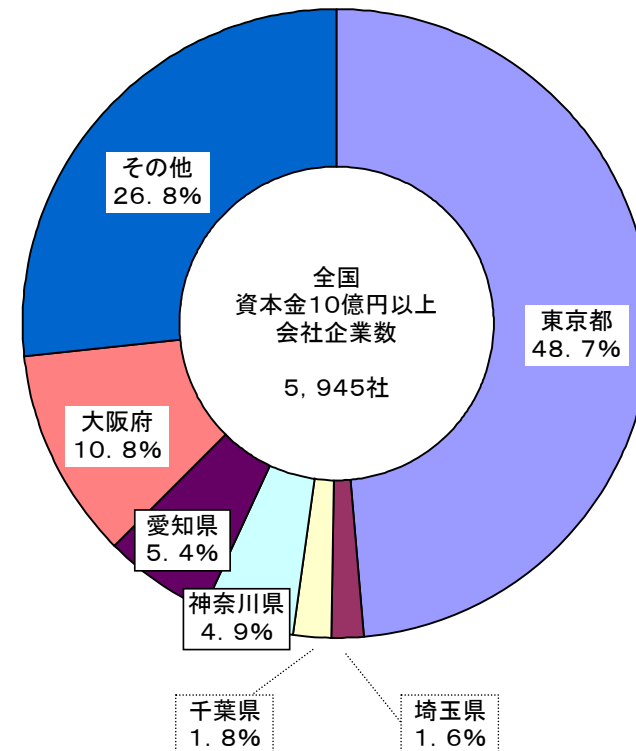
都内地域別、都道府県別資本金10億円以上の会社企業数の構成比(2006年)

付表 14
(第3回資料)

都内地域別資本金10億円以上の会社企業数の構成比



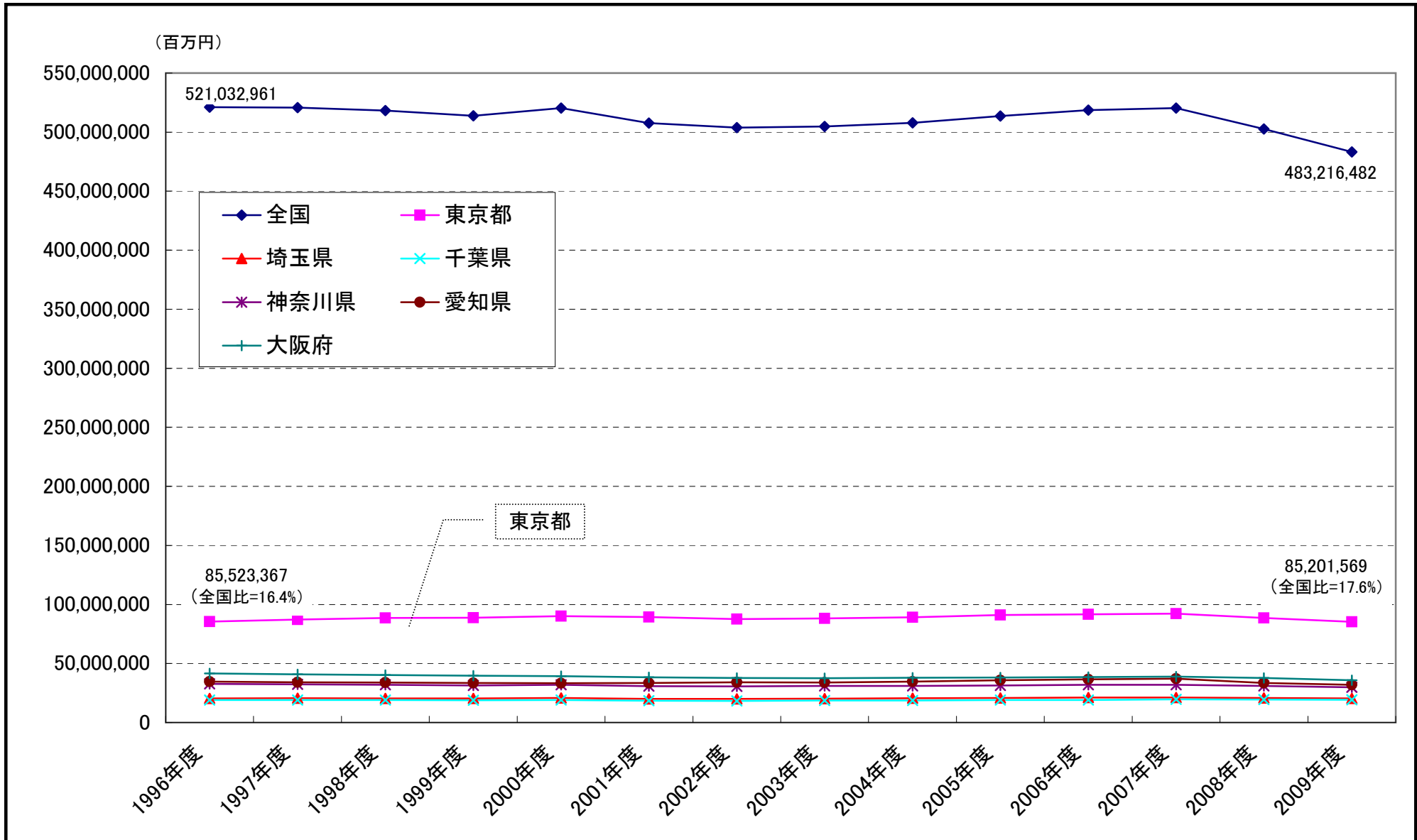
都道府県別資本金10億円以上の会社企業数の構成比



注)三大都市圏(首都圏、中部圏、近畿圏)の中から、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府を選定し、東京都と比較。

県内総生産(名目)の推移

付表 15
(第3回資料等)



内閣府「県民経済計算」より作成

注)三大都市圏(首都圏、中部圏、近畿圏)の中から、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府を選定し、東京都と比較。

【更新】2008年度・2009年度を追記

世界のコンテナ取扱量ランキング

取扱量(万TEU)

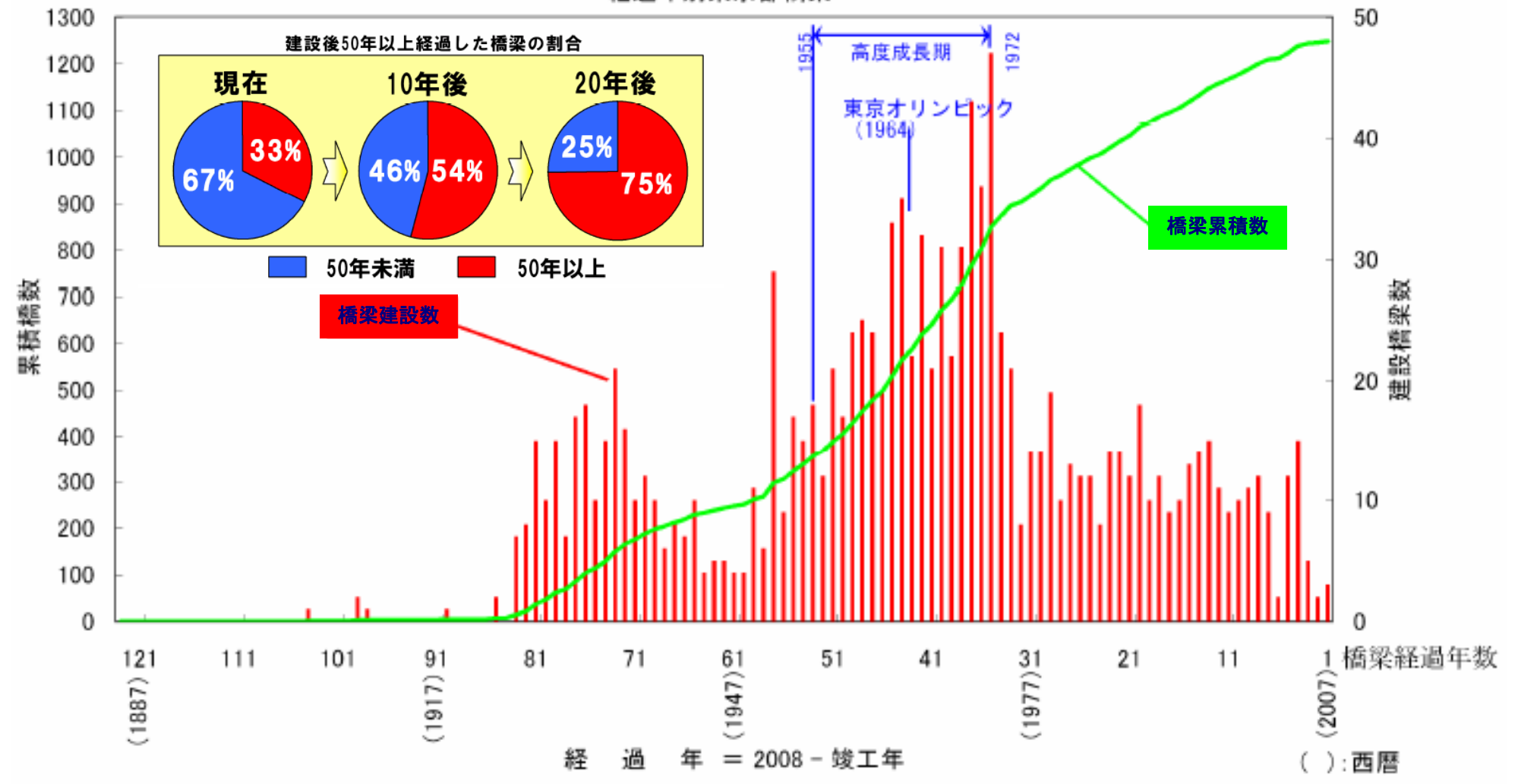
1991年		2007年		2008年		2009年		2010年	
1	シンガポール 635	1	シンガポール 2,793	1	シンガポール 2,991	1	シンガポール 2,587	1	上海 2,907
2	香港 616	2	上海 2,615	2	上海 2,798	2	上海 2,500	2	シンガポール 2,843
3	高雄 391	3	香港 2,399	3	香港 2,449	3	香港 2,098	3	香港 2,353
4	ロッテルダム 377	4	深セン 2,109	4	深セン 2,141	4	深セン 1,825	4	深セン 2,251
5	釜山 269	5	釜山 1,326	5	釜山 1,345	5	釜山 1,195	5	釜山 1,416
6	神戸 264	6	ロッテルダム 1,079	6	ドバイ 1,182	6	広州 1,119	6	寧波 1,314
7	ハンブルグ 219	7	ドバイ 1,065	7	寧波 1,122	7	ドバイ 1,112	7	広州 1,255
8	ロサンゼルス 204	8	高雄 1,025	8	広州 1,100	8	寧波 1,050	8	青島 1,201
9	基隆 201	9	ハンブルグ 989	9	ロッテルダム 1,080	9	青島 1,026	9	ドバイ 1,160
10	ニューヨーク 187	10	青島 946	10	青島 1,032	10	ロッテルダム 974	10	ロッテルダム 1,115
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
12	東京 178	23	東京 413	24	東京 416	25	東京 381	27	東京 420

2007～2010年追記

出所：(社)日本港運協会 統計データ、(社)日本港湾協会 港湾政策研究所 港湾物流情報 及び 東京都都市整備局「都市づくりビジョンの改訂」(平成21年7月)

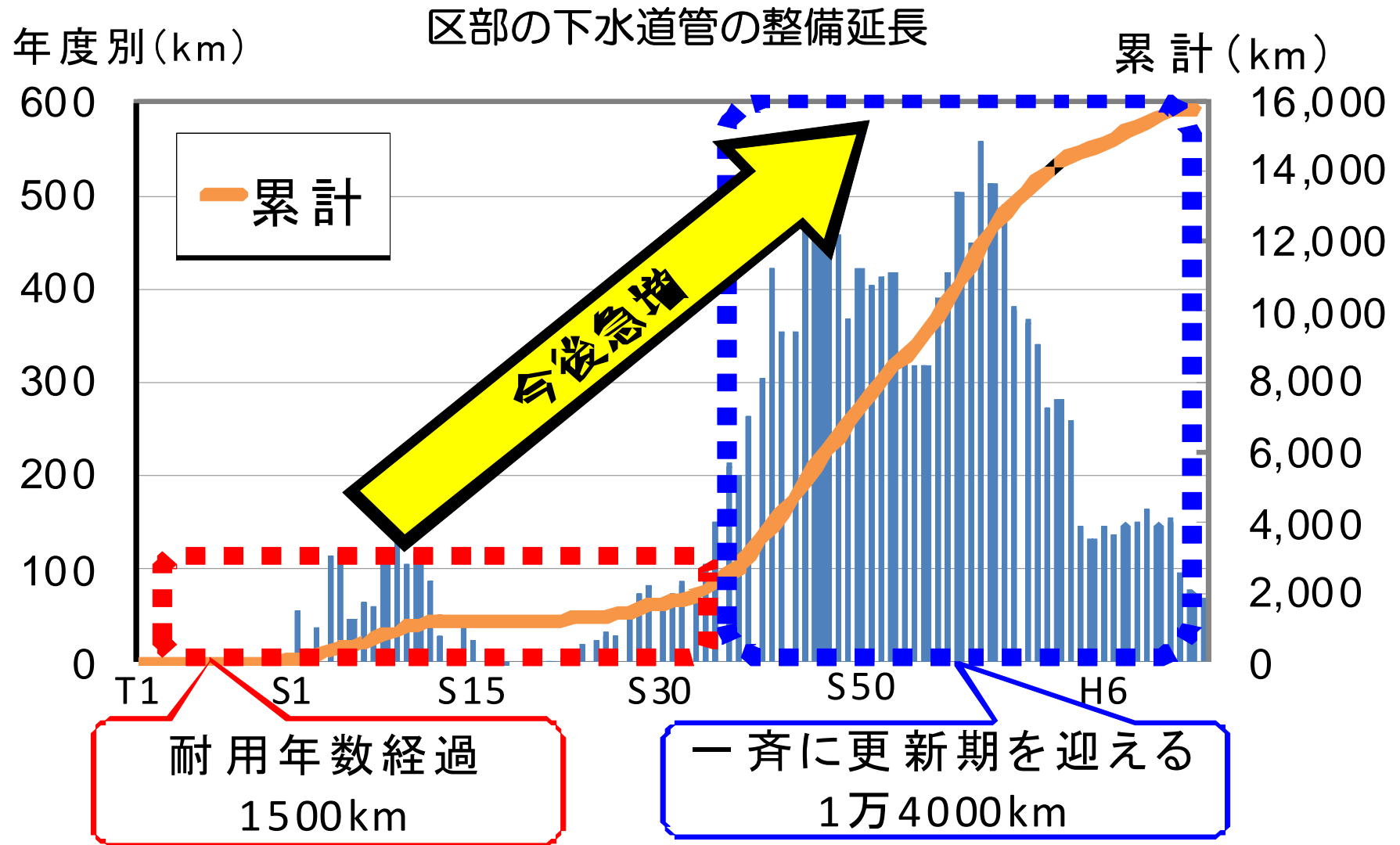
経過年別東京都橋梁及び50年以上橋梁割合

経過年別東京都橋梁



今後、耐用年数を超える下水道管が急増

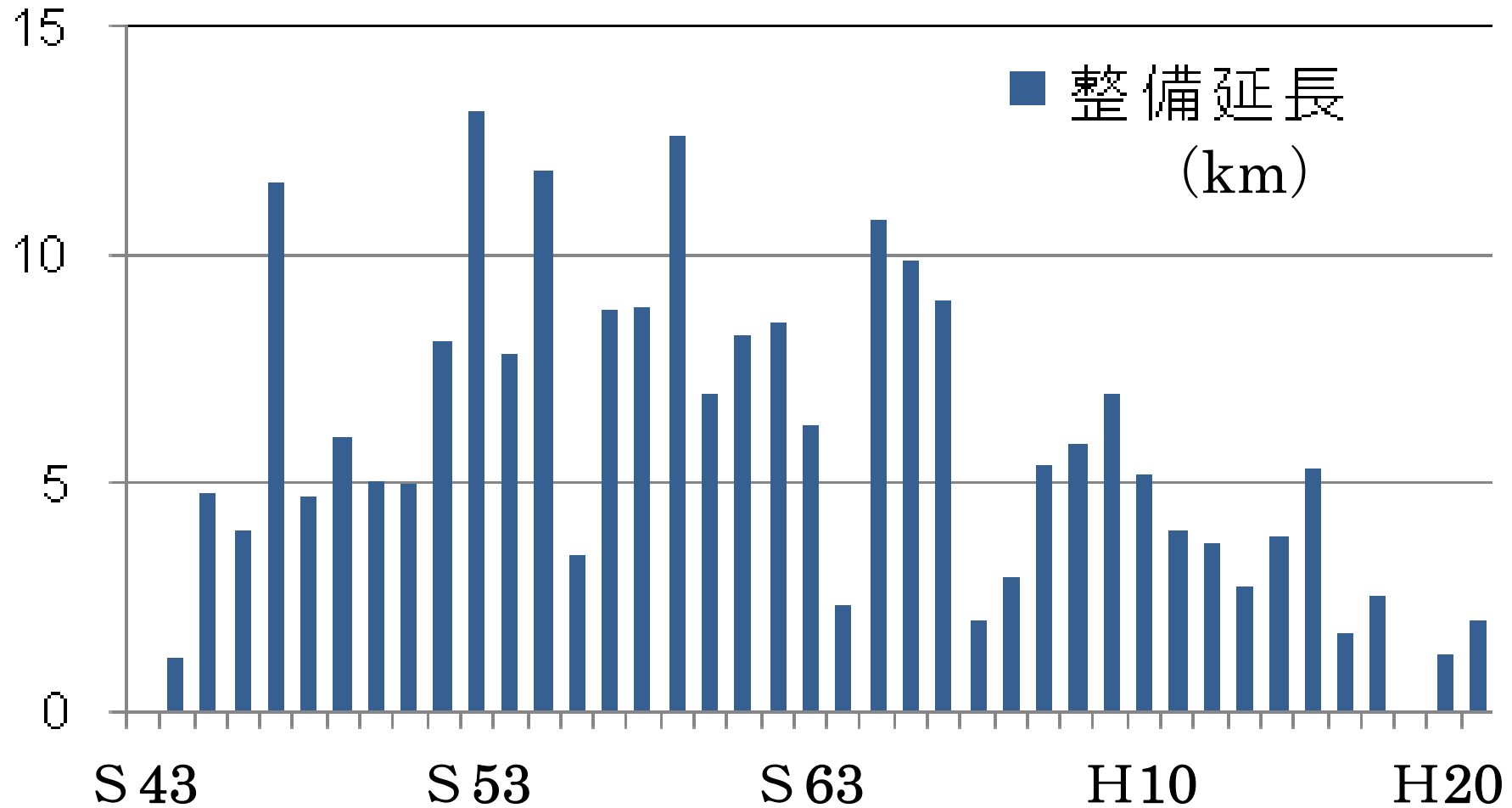
付表 18
(第6回資料)



昭和 40~50 年代には下水道管全延長の約 5 割が建設され、今後、一斉に更新時期を迎える（耐用年数は約 50 年）

多摩地域の流域下水道幹線の年度別整備延長

付 表 19
(第3回資料)

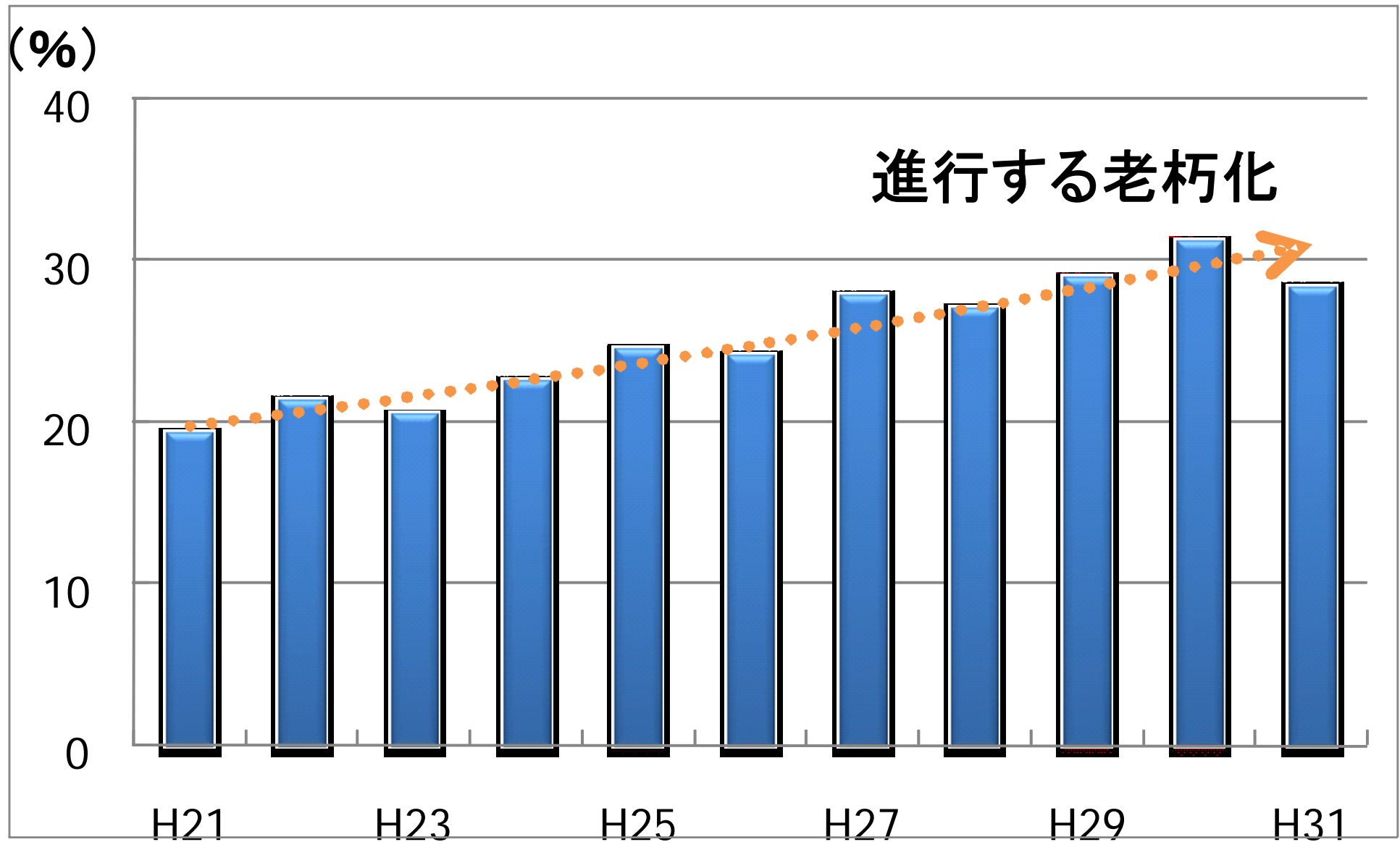


昭和40～50年代に整備した幹線が、今後、一斉に更新時期を迎える

出所：東京都下水道局 経営計画2010

多摩地域の流域下水道施設で耐用年数を超えて使用している割合

付 表 20
(第3回資料)



出所：東京都下水道局 経営計画2010